



No.429

社団法人名古屋工業会会誌

こぎそ

2009 5-6 月号

[式 辞]

平成20年度学位記授与式 学長式辞
平成20年度 名古屋工業会賞贈呈式 理事長挨拶
平成21年度入学式 学長式辞

[企業トップセミナー]

新しい時代を迎えて、日本の将来を担う技術者に

[トピックス]

名工大の学生支援

[交流コーナー]

ものづくり・ひとづくり・価値づくり・未来づくり

[学科紹介]

卒業制作研究展(仮称)開催

[学生コーナー]

韓国を紹介します

[クラブ紹介]

鉄道趣味の交流場

ビリヤード部!!～全国大会を目指して～

[学内ニュース]

[情報ネットワーク]

支部報告・会員ニュース

パズル



東京支部「東京ごきそサロン」開催のご案内

第44回「東京ごきそサロン」を次のとおり開催致します。会員各位のご参加をお待ちしています。

開催日時：平成21年7月15日（水） 18時30分～20時30分

開催場所：八重洲倶楽部（東京駅八重洲口地下） 電話：03-3275-0801

テーマ：「都市・農村連携、文・理連携、公民協働で危機の時代を乗り切る」

講師：堀尾正靱（ほりお まさゆき）氏（D41）

東京農工大学名誉教授 科学技術振興機構-社会技術研究開発センター・領域総括

講演概要：オイルピークの通過、石油価格乱高下、金融・雇用危機、過疎の深刻化、生物多様性衰退、地球温暖化・気候変動・・・等々の危機の時代の本質は、石油漬けの近代化の破綻にある。2050年に向けて危機を乗り切っていくシナリオを論じ、都市・農村連携、農・工および文・理連携、公民協働の必要性について述べられます。

会費：1,000円（懇親食事代）

申込先：食事の準備の都合上、7月8日（水）までに下記の各科常任幹事宛、電話又はFAX又はe-mailでお申し込み下さい。

各科常任幹事は出席者名簿を7月11日（土）までに須賀まで E-mail (hsuga@jcom.home.ne.jp.) あるいはFAX (048-833-1376) によりご連絡下さい。

C原田：Tel 03-3535-1579
e-mail: tatsuji.harada@toda.co.jp

A小松：Tel 03-5461-1695
Fax 03-5769-1915
e-mail: komatsu.nobuharu@obayashi.co.jp

M：直接ごきそサロン担当 K科須賀（連絡先は上記）までご連絡ください。

E加藤：Tel/Fax 029-273-5506
e-mail: kato.katsuhide@h9.dion.ne.jp

D三山：Tel 03-3972-4909
Fax 03-3972-4583
e-mail: miyama@asahibond.co.jp

W飯田：Tel/Fax 03-3688-1961
e-mail: imas-hi@cameo.plala.or.jp

Y日沖：Tel 03-3347-7512
Fax 03-3347-7548
e-mail: hioki3@y6.dion.ne.jp

K須賀：Tel/Fax 048-833-1376
e-mail: hsuga@jcom.home.ne.jp

F嶋：Tel 0466-83-9490
Fax 0466-82-9239
e-mail: shima.shohei@ebara.com

B濱野：Tel 042-795-0641
e-mail: k-hamano@h01.itscom.net

Es平手：Tel/Fax 045-321-7626
e-mail: hirate@nifty.com

Ⓜ北野：Tel/Fax 03-3467-5739

会誌「ごきそ」のバックナンバーは、名古屋工業会のホームページ
<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>でご覧いただけます。

表紙写真説明

「新しくなった20号館の情報基盤センター演習室」

撮影者：黒柳 奨（EJ③）、情報基盤センター提供



平成20年度学位記授与式

学長式辞

国立大学法人名古屋工業大学

学長 松井 信行 (E41, 修士43)

皆さん学位取得おめでとうございます。本日この席で、博士50名、修士588名、学士1,028名の皆さんに学位記をお渡ししてきました。社会人学生として研鑽を積まれた方々、留学生として努力を重ねてきた方々を含めて、皆様のご卒業を、本学の教職員、皆さんのご両親やご家族と共に祝いしたいと思います。

今日、皆さんは未来に向かって輝かしいスタートを切りました。既にご承知のように、アメリカに端を発したサブプライム問題が世界的な金融機関に影響を与え、比較的軽微な影響に終わるであろうといわれていたわが国の金融や製造業にも深刻な影響が出ています。大変厳しい状況の中での皆さんの門出になりました。私は40年を超える長きに亘ってこの大学で卒業生を送り出してきましたが、振り返りますと、その間には良い時期も、悪い時期もありました。正確な統計資料に基づいて言うわけではありませんが、厳しい社会的環境の中で卒業された先輩諸氏は、総じて恵まれた時代の卒業生に比べて、かえって社会で大きく活躍しておられます。大きな夢を持って新しい世界に立ち向かって欲しいと思います。

現下の経済状況の中で、改めて、わが国の製造業が社会と雇用の安定に貢献している役割の大きさが強く認識されるようになりました。また、このような厳しい状況の中でも、日本の製造業は広い意味の環境問題克服を新たな戦略として、イノベーションに対峙していますし、その一挙手一投足が世界的に注目されています。

例えば、トヨタのハイブリッドカーは世界的な関心の的ですし、日産は日本の伝統的文化センスをカーデザインに持ち込んで、外国人自動車ジャーナリストを唸らせています。また、コンピュータネットワーク端末の様相を呈して極めて特徴的な発展を遂げているわが国の携帯電話は、通話とメールに機能集約した海外の携帯電話とは一線を画していますが、そのコンテンツサービスは海外企業が注目して事業展開を図っていますし、携帯ビジネスでは世界的展開を見せているノキアは、日本で

の事業展開からは撤退しましたが、研究開発部門は独特の展開をしている日本に残っています。

先日もある企業の開発製品を拝見する機会がありました。植物由来のバイオプラスチックで作る自動車ボディ、複合材料による燃料電池、自動車用超軽量圧縮水素容器、航空機用炭素繊維強化樹脂、飛躍的に軽く強靱な有機ガラス、導電性透明シート、熱伝導が金属よりも優れた放熱樹脂など、明らかに世界を変革出来る技術が用意されています。このような「待ち伏せ技術」が多くの日本企業には数多く用意されているのだそうです。国内外で「変革」あるいは「イノベーション」が叫ばれるなかで、人々が求める新たな価値、そこに求められる新たな「サービス」や「モノ」を求めて、「待ち伏せ技術」を具体的なものづくりに結び付けていくことが、工学を学んだ私たちが未来を開拓していく上での責任だと思います。

最後になりますが、卒業する皆さんに毎年お願いしていることがあります。6万人を越える本学の卒業生の産業界、学界、政界などでの活躍が、名古屋工業大学の高い社会的評価に繋がっています。皆さんも卒業後、最低一年に一回は大学に来て、皆さん一人一人が仕事を通じて求めているものを後輩に話してやって下さい。あなたの成長が本学の成長に繋がり、後輩が育つのです。それが皆さんにとっても、本学にとってもかけがえのない財産になるのです。未来に向かって、ともに成長しましょう。卒業おめでとう。





平成20年度 名古屋工業会賞贈呈式

理事長挨拶

社団法人名古屋工業会

理事長 篠田 陽史 (M33)

平成20年度学位記授与式にあたり、名古屋工業大学全学同窓会組織であります社団法人名古屋工業会を代表して、ご挨拶申し上げます。

本日、皆様方にはめでたく学位記を授与されましたこと、心よりお祝い申し上げますとともに、これまでの勉学の努力、スポーツや学内外活動での人間形成の成果に対して敬意を表します。

又、先程、名古屋工業会賞を受賞されました22名の方々、在学中のたゆまぬ研鑽に対しこれまた深く敬意を表するものであります。

この賞は名古屋工業大学を卒業された方々のうち、極めて学業成績が優秀であり、人間形成においても豊かな感性を持ち、他の学生の模範となると認められた人に対し、学長の推挙に基づき贈呈されたものです。どうかそれぞれの分野での大いなる活躍を期待いたします。

これから皆様は新しい社会あるいは勉学に踏み出すことになります。ここに社会に出た先輩として二つの助言をもって、餞といたしたいと存じます。

まず名古屋工業大学への帰属意識すなわちアイデンティティをより強く持って欲しいことです。

皆様は100年の歴史と6万人の卒業生の知識、経験、そして実績のバックアップを受けて社会に出ていきます。これがどんなに大きいかは、これからの実社会のなかで気付いて行くはずです。

仕事をするうえで、どれだけの人脈を持っているか、知識、経験を吸収できる機会を持てるか、新しい知識をどう研鑽するか、これらが仕事を成功させる鍵となります。マネージメントにたずさわると、ますます重要になります。大学は、同窓会組織を含め、これらの提供、交換、研鑽の場となります。

一方大学は国立大学法人となり、自分で生きて行くことを要求されています。母校が衰退してゆく、世の中から忘れられて行くことがあってはなりません。これからは貴方がたが卒業生として大学を支え繁栄させてゆく役目を担う立場になったことを忘れないでいただくようお願いいたします。

続いて二つ目は、忍耐と柔軟な考えです。学部、修士を出て、企業、官公庁に入った方、ドクターから研究所や研究部門に入った方、自分の描いていた仕事に就くことは、まずありません。専門学

科と言ってもたかが2、3年学んだだけです。下積みからと思わなくてはなりません。それこそ定年まで40年以上のチャレンジの機会があります。忍耐が必要です。会社でも40年のうちにはメインビジネスもどんどん変わって行きます。この事は次の柔軟な考えにもつながります。

柔軟な考えについて述べてみます。今年3月、D41の卒業生で東京農工大学名誉教授、堀尾正鞠氏の講演を同窓会組織の一つである緑会主催講演会で聞くことが出来ました。

氏の研究歴は、反応装置工学から始まり、流動、粉体、石炭利用、廃棄物処理、環境、バイオマス、生存科学、地域計画、地球科学の各工学へと進んできており、それぞれの分野で大きな実績をあげておられます。

講演の中で、新しいテーマにチャレンジするときには「今行動の指針がしっかりしていなくても仕方がない」これは新しい研究を進めて行くとき広く色々な分野の情報を集め、そしてとらわれない思考を進めることを指しておられると思います。私も長い会社生活で、まさにその通りだと感じ講演に感銘を受けました。

今、皆様を迎える日本経済は100年に一度といわれる世界不況が押し寄せており、3年は続くと言われていています。この時こそ、社会は皆様の活躍を期待しています。健闘を祈念します。

最後になりましたが、これまで皆様を育てていただきました、ご家族に深く敬意を表しますと共に、教育、研究のご指導を頂きました、教職員の皆さま方に深甚なる謝意を表し、私の挨拶とさせていただきます。



名古屋工業会賞の贈呈

名古屋工業会賞は、第一部・第二部の各学科を卒業する者のうち、在学中の学業成績が極めて優秀であり、豊かな感性を持ち他の学生の模範と認められる学生に対して、社団法人名古屋工業会が名古屋工業大学長の推挙に基づき贈呈する賞です。

平成21年3月23日(月)の名古屋工業大学学位記授与式の中で贈呈式が行われ、篠田理事長から下記の22名に贈呈されました。

名古屋工業会賞贈呈者

(第一部)

生命・物質工学科	鏡味 克之	石井 陽祐	萩野 敬広
環境材料工学科	辻野 鮎美	野村 幸生	
機械工学科	平瀬 裕司	宮本 裕貴	磯野 美帆
電気電子工学科	大原由紀子	関崎 真也	一木 智
情報工学科	林 貴宣	鹿住 恭介	奥 隆史
建築・デザイン学科	平井 健一	三ツ矢裕貴	
都市社会工学科	濱口 知季	福永 和馬	

(第二部)

物質工学科	青木 真一	電気情報工学科	渡辺 新
機械工学科	富永 和良	社会開発工学科	今瀬 達也





平成21年度入学式

学長式辞

国立大学法人名古屋工業大学

学長 松井 信行 (E41, 修士43)

新入生の皆様、入学おめでとうございます。留学生109名の方々を含め、大学院794名、学部1,003名、総計1,797名の方々を名古屋工業大学にお迎え致しました。

名古屋工業大学の皆さんの先輩である6万人を超える卒業生の社会的活動から見て、本日入学された皆さんは必ずや技術者、研究者として社会のリーダーになると確信し、皆さんの成長を楽しみにしています。いま、社会から皆さんに期待されているのは深い専門性と共に、「人間力」です。具体的には、日常生活の中から問題を発掘し、解決していく能力、幅広い見識や学際的知見、高い倫理観、コミュニケーション能力などを指します。これに応える為には、学生時代に専門を極めるだけに留まらず、もう一人の自分、例えば音楽や絵画等芸術への造詣、華道、茶道等の伝統文化へのたしなみ、野球やサッカー、テニス、ゴルフ等のスポーツに取り組む等、別の世界を併せ持つ自分を作り上げる努力をして頂きたいと思えます。深い専門知識ともう一人の自分が併せ持つ人間的な幅の広さが、名古屋工業大学で学び社会のリーダーに成長する皆さんに求められています。

私が言うまでもなく、昨年来の世界的な金融不安が日本の実体経済にも大きな影響を及ぼし、社会不安が増大する中で、誰もがこの不況からいつ脱出できるのかに深い関心を払っています。皆さんが今回の不況脱出を考える時、「いつ」に関心を持つ以上に大事な事は、必ずや科学技術が大きな役割を果し、結果的に色々な局面に大きな変革が生じて、新たな社会の出現に繋がるという認識を持つ事です。

科学技術による日本の明るい未来が見え始めています。皆さんは「メタンハイドレート」という言葉を聞いた事がありますか？水深500m以上の海底などで、天然ガスの主成分であるメタンガスが高压、低温状態で水分子の中にシャーベット状になった次世代エネルギー資源です。日本近海に、天然ガス年間消費量換算で約100年分あると言わ

れています。日本は、海底で固形物をメタンガスと水に分離する低コスト分離技術で世界に先行し、2008年の海洋基本計画の下に10年後の商業化にむけた取り組みを開始しています。

堺市で建設が進んでいる大型液晶パネル製造拠点としての太陽電池コンビナートは、関連技術の製品を持つ複合型企業集団によって高い生産性と環境負荷低減を両立させる新たな概念のコンビナートです。報道によれば、このコンビナートで年産48万kWの太陽電池を生産すると共に、一般住宅換算で5000所帯分の消費電力に相当する20MWの太陽光発電を行い、同時に世界最大の10MW燃料電池も導入予定です。さらに、熱、電気に加えてCO₂も有効利用する「トリジェネ」という概念で資源リサイクルが実行されます。このコンビナートは、製造プラントであると同時にエネルギー発生基地でもあるという点で従来概念を一新するものとして、世界展開が期待されています。

いまお話した二つの例は、資源小国と言われていた日本の立場を大きく変える可能性を示しています。環境、エネルギー、食料という地球規模の問題は、科学技術とその背景にある社会の変革によって解決していく事になるのです。わが国の「ものづくり」はこの意気込みの中で、産学官連携に取り組んでいます。名古屋工業大学は皆さんをこの変革のリーダーに育て上げることをお約束して、本日の式辞といたします。改めて、入学おめでとうございます。





企業トップセミナー

TOP SEMINAR

新しい時代を迎えて、 日本の将来を担う技術者に

～ものづくり技術立国、環境立国の一員として～

帝人株式会社 取締役会長 長島 徹

4月6日の入学式後、企業トップセミナーが開催され、名工大OBの帝人株式会社取締役会長の長島徹氏より講演が行われました。

講演終了後、同氏には松井学長から名誉博士の称号が授与されました。

皆さん、母校名古屋工業大学の学部、修士、博士課程への入学、真におめでとうございます。帝人株式会社の会長を務めております長島徹です。本日は松井学長からご要請を受け、皆さんにお話をしたいと思います。大学時代からの経験談、これからの世の中の動向と、更に皆さんへの要望、ご父兄へのお願いについてです。

最初に、40数年前の名古屋工業大学での学生生活を思い起こして見ました。私がお世話になった学科は繊維工学科です。繊維産業は当時日本の基幹産業で、特に合成繊維が成長期でした。当時の繊維工学科は現在の生命・物質工学科に組み込まれていると聞いています。

名工大へ入学、そして卒業

入学式の日、私は構内の奥の方で聞こえてきた「コーン、コーン」と言う音に釣られて行きますと、そこは硬式テニスコートでした。初めて見る硬式テニスでしたが、中学、高校と6年間軟式テニスをやっていたので、その場で躊躇なく入部を申し入れました。

そして私にとっては学業とテニス部活動が4年間の生活の中心となりました。生活費の一部と春及び夏休みのテニス合宿費用を捻出するために、色々なバイトもしました。テニス一辺倒で、夏休みに旅行をしなかったのが今思えば残念です。3回生の時にダブルスで東海代表とし



写真1. 講演を行う長島氏

て、全日本学生選手権に出場したことが良い思い出です。もちろん経験が足らず一回戦で敗退しました。しかし後年必要となる体力の基礎と精神的な粘りを作ったと思います。

卒論のための実験の合間に囲碁を習いました。当時は5級くらいの腕前だったと思います。今は女性プロについて少しずつ勉強を開始した所で2～3段位の実力です。また、休講時にマージャンを習いました。マージャンは仲間とかなりの時間一緒にやりますから、相手の人間性というのが良く分かりますね。

試験の時はクラブで忙しい友4～5人と試験合宿を行い、互いに出題し合って、短期間に準備する工夫をしましたが、正直言って一科目追試でした。テニス部顧問の哲学の教授の試験はテニス部と書いて甘く見て貰った覚えがあります。今はこんなことはないと思いますが。

帝人を推薦で受け、面接ではテニス部で全日本学生選手権に出場したとすることで合格しました。クラスの成績一番手の何人かが東レに就職したので、私はそれ以降の何番手かだと思います。トップでなかったのは確かです。従って、私は名工大に入学した時は繊維工学科でしたが、卒業はテニス部ということになります。

帝人入社、様々な経験

帝人に入社時、“君はどんな所で働きたいか”と聞かれ、格好良さそうだと思われた研究所を希望しました。3年間そこで働いたのですが、廻りは大変優秀な人達ばかりで、成果みたいなものが中々見えず、気分的には曇天続きでした。

この職場は合わないかと思い始めた頃、北陸の子会社へ出向となりました。ここでは生産現場での生産管理、品質管理を学びました。お客さんから来るクレーム処理も担当しました。4年程で大阪本社の加工技術部へ配属になり、技術開発担当者になってフィリピンで技術サービスもやりました。初めての海外出張です。

入社9年目の31歳、部署内の一番若手と言うことで、アメリカに一年間英語研修に行くことになりました。インターナショナル・ビジネスマンの養成と言う会社の教育方針が出たためです。アメリカから帰国直後、今度はメキシコの織物染色合弁会社に行くことになりました。4年間家族と共にメキシコに在住し、スペイン語をある程度マスターできました。

メキシコからの帰国後、再び北陸の子会社に出向になりました。今度は技術課長として開発担当です。2年程経って本社人事サイドからの人事面接があり、その時自分が将来どのような仕事をするようになるか上司に質問しました。

その数ヶ月後に本社復帰になったのですが、職場は産業資材の営業部門で、技術サービス・スタッフではなく、営業マンとして働くことになり、これにはびっくりしました。39歳で営業を一からとなるのです。同期入社が多くが既に課長職についておりました。しかし、一度営業たるものを勉強するのも悪くはないと流れのままに10歳年下の営業マンについて、一年間素直に営業を学びました。

それから4年、部長に呼ばれ“君すまんが、HM-50開発班に行ってくれ”と言われました。“えー！またですか。何故私が行くのですか？”と思わず聞いてしまいました。“君なあ、繊維事業本部長から君だと白羽の矢が当たったのだ”と上手く言われ、納得して新しい職場に行きました。43歳の時です。HM-50開発班と言

うのは帝人の中でこれから新しく始めようとしている、アラミド繊維という防弾チョッキ等にも使われる高い切断強力と耐熱性を持った高機能繊維事業だったのです。

何度となく職場が変わってきました。研究所を初め、生産工場、本社技術開発、海外合弁会社、子会社、営業と色々職場を経験してきたことが、今ここの新規事業に活かせる。この事業の黒字化に自分の会社生活を賭けようと思いました。神の啓示のような感覚でした。

それから10年経って幸運にも私がそのアラミド繊維事業部長の時に黒字化を達成しました。会社生活で一番嬉しい瞬間でした。54歳の時です。当時製品が世界でどんどん売れ出し足らなくなっていたので、直ぐに20億円程度の増設を私の権限で決定し、同時にオランダの化学会社がやっていた、帝人の高機能繊維事業より売上高で10倍程大きい相手のアラミド繊維事業の買収を提案しました。

私にとって他社の事業買収は始めてで、どう進めて良いか知りませんでした。帝人のアラミド繊維事業を何とか大きくしたいとの思いで、未知の世界の怖さより、情熱が勝っていたと思います。この案件は買収成功まで3年掛かりました。57歳の時です。そしてその年に取締役役に就任しました。翌年、58歳で帝人全社の経営企画室長になれと命令が出て、またまた転勤です。大阪から東京に初めての勤務となり、あと数年このまま経営企画室長として勤めれば、私の帝人での会社生活を無事終えることができると、そう考えていました。

ところが人生何が起きるか分かりません。その半年後に突然社長に呼ばれ、“お前、わしの代わりに社長になれ”と言われました。“えー！”と言葉が出ません。“わしは舌に癌ができて手術を直ぐすることになった。今日のアドバイザリーボード会議でアドバイザー全員が賛成してくれたので、お前逃げられへんで”の言葉です。要するに一考の余地なしです。

晴天の霹靂です。逃げられんぞと言われ、その場では嫌だと言えなかったのです。“分かりました”と言うしか有りませんでした。何故

帝人の社長になれたのかは良く分かりません。様々な経験の後、新規事業に携わり、事業部長の時に黒字化できたこと、オランダの競争相手から事業買収に成功したことが理由かも知れません。私自身は社長になろうとも、なりたいたも全く思っていないでしたから、人生は分からないものです。新任社長記者会見で何故社長にしたかと言うマスコミの質問に、前社長は「明るさと行動力を買った」と応えました。決して賢いからとは言われませんでした。明るさと行動力には自信が有りましたので、これで良いなら社長をやってみると言う気にはなりましたが、社長になったのは全く偶然と思います。

早い時期に、様々な経験を積んだ方が良いと思います。振り返ると私は人事や経理財務と言った仕事を除いて、殆どの分野を経験し、これらを通じて自己成長をしてきたのではと思います。目標達成への努力、工夫、粘りの精神ができたのでしょう。その間に晴天の霹靂を何度も経験し、耐ストレス性も身に着けました。

本気でやれば大抵のことは成就できますが、出来ないこともありますね。例えば社長になることです。自分で会社を作って社長になるケースは別です。日曜の夜に大河物語の「天地人」がNHKで放映されていますが、この天地人というのは一般には「天の時、地の利、人の和」の三つが整った時に、物事は上手く行くということを言っているのですが、この中で天の時、即ちタイミングも非常に重要な要素で、運に繋がると思います。従って、社長になれるのは運が8割、努力2割と言ったところでしょうか。

アメリカ語学研修

失敗のない人生はありません。必ずどこかで失敗やミスは犯すものです。失敗は成功の元ですね。倒れても起き上がることのできる程度の小さな失敗を数多く経験してください。前向きに取りあえず“*Yes, I do*”と言って下さい。企業でも前向きな、新しいことにチャレンジした失敗は許されます。自らを鼓舞して、前向きに捕らえる訓練が大切です。こうして明るさと行動力ができてきます。失敗しても、「何とかなる」

精神で前に進んで下さい。楽観的の方が良い結果が生まれると思います。

入社9年目の31歳でアメリカに英語の勉強に派遣された時の、カナダ・バンクーバーでの経験談をお話します。B1というビジネス・ビザでアメリカ入国を拒否された事件です。

アメリカのユタ州ソルトレイク市にあるユタ大学のMBA（ビジネススクール）に入学し、ビジネス英語の勉強を目的として1年間の予定で派遣されることになりました。只、MBAに入るには少しTOEFL試験の点が足らず、事前に民間の英語スクールで勉強し、当地でMBAのテストを受けることになりました。

出発の際、35年前のことですから、大阪の伊丹空港には妻と小さい子供、私の親、会社上司の課長が見送りに来てくれました。

バンクーバーからアメリカに出発する当日、バンクーバー空港で朝8時頃にチェックインして、荷物を送り込み、ここまでは順調だったのですが、パスポート・コントロールで問題が発生したのです。既にそこがアメリカの入国検査だったのを知らなかったのです。

何のためにアメリカに行くのかと質問され、正直に会社の派遣で仕事として英語の勉強に行くと言いました。何処で勉強をするのかと言う質問に対し、まずはソルトレイク市の社会人向けの英語学校ですと言った所、英語を勉強する目的ならB1ビザでなくF1ビザ（学生ビザ）を取って来い。このB1ビザではアメリカに入れないと言われました。びっくり仰天です。会社は大丈夫と言っていたのに。さあどうするか？たった一人で誰も助けてくれる人はいない状況です。

皆さんならどうしますか？私は取りあえず、日本大使館に飛び込み説明しましたが、全く拉致が開きません。次にアメリカ総領事館に行って事情を話しましたが、「日本に帰ってF1ビザを取り直して来い」の一点張りです。

気が付くともう夕方の4時頃で、外は雨が降っているし、昼飯は食べていないし、疲れたし、困り果ててしまいました。さりとてこのままおめおめと日本に帰る訳にも行かないし。本

当に泣きそうな気持ちでした。コーヒーショップに入って、もう一泊するためにホテルの予約でもとを考えていたのですが、ふと「そうだ、あれから8時間経っているのだから、きっとアメリカの入国ビザをチェックする人も変わっているに違いない」という考えが浮かんだのです。

もう一回トライするしかないと言われ、空港へ引返しました。通関でドキドキしながら、そっと伺うと午前中とは違う女性の通関員に当たったのです。今回はもし「何のためにアメリカに行くのか」と聞かれたら、「ビジネスで」と答を準備していました。案の定、その質問が出ました。続いて「どの位の期間アメリカにいるのか？」一ヶ月位。「場所はどこか？」ソルトレイク市。「何のビジネスか？」テキスタイル・ビジネス。「そこにそんなものがあるのか？」しつこい位の質問でしたが、「ある」と押し通し、ようやくOKになりました。万歳です。「窮すれば通ずる」です。それ以降、何事にも「何とかする」と考えるようになりました。

世の中の変化、日本に我々に求められること

さて、少し話題を変えて、皆さんが卒業する頃、或いはもっと先の世の中がどんな風になるかを考えて見ましょう。きっと今とは全く違う物事の基準や標準や規範になっていると思います。業界用語ではこれをパラダイムの変革と言っています。パラダイスではないですよ。

皆さんも今では相当理解が進んでいると思いますが、米国の住宅ローン、所謂サブプライムローン問題を引き金とする世界金融危機が昨年9月のリーマン・ブラザーズ破綻をきっかけに起こりました。これはIT技術と金融工学の結び付きで、悪知恵の働いた金融資本主義が行き着いたアメリカ主導の金融システムの崩壊を意味します。このアメリカの金融資本主義の崩壊が世界中の実体経済、即ちカネではなく、モノ中心の経済に悪影響を及ぼしています。

特に日本が得意としていた自動車産業、エレクトロニクス産業は勿論のこと、これらの産業に関係する素材産業も大打撃を受けて、工場の設備稼働も半分かそれ以下になっています。消

費者の購買心理も冷え込み、銀行も貸し倒れしないようにお金を貸すのに用心深くなり、企業は金回りが悪くなって倒産するところが増加し、未曾有の世界同時不況となり、消費大国のアメリカ経済が早く復活しなければ、本格的な世界恐慌に突入する恐れもあります。

今は金融機関の信用回復が一番重要で、この一年くらいで世界各国がお金を出して信用が安定すれば、実体経済は2～3年で回復基調に入ると思われています。4月2日のロンドンでのG20サミットで、金融制度の見直し、規制化に世界が動き出したのは当然だと思います。

金融危機と世界同時不況を招き、イラク戦争に失敗し、テロを誘発させたブッシュ政権は米国大統領の中では最悪に近いと私は思うのですが、「自分さえ良ければ良い」と言う「一国主義」、「覇権主義」、「自由放任主義」、「拝金主義」から、今アメリカはオバマ新大統領が必死になって、脱皮、修正に動いているところです。

今やBRICSと言った新興国の台頭もあり、一極（単極）から多極化に世界は向かうと言うのは確実です。いくら自由だ、何でも有りだと言っても、規律、規制のない自由は、義務と責任を伴わない暴力に近いものです。

オバマ大統領もアメリカの民主主義や新自由主義の押し付けが間違っていたことに気付いて、イラン、イラクと言ったイスラム教国と互いに尊敬を持って会話を始めようとしています。ブッシュ政権時代と異なる方向への政策変更でアメリカの再生を計画しています。

今やIT技術の発展によって、どんな情報でも一瞬の内に世界中に広まるようになっていすので、ビジネスや学術研究でもボーダレスは止められません。むしろ積極的なIT技術の活用が、世界で勝ち抜く重要な要素です。オープン・インフォメーション、オープン・イノベーションと言われる理由の一つです。

また、他の先進国と同様、このままでは明らかに日本の人口は減少し、労働生産力と同時に消費力も減少します。従って日本企業は一部のサービス業を除いて、どうしてもグローバルにビジネスを展開していかなければなりません。

所が一方で地球全体の人口は2005年の65億人から2050年には91億人に増えると言われていています。ほぼ間違いのない事実だと思えます。人口が増えるのはこの地球が人間にとって住みやすい環境にあるためですが、増える地域はインドを中心としたアジア諸国とアフリカにおいてです。適切な人口は世界で30億人と言われていていますから、地球3個分と言う計算になります。91億人は限界ギリギリの所でしょう。人口が91億人に増えることこそが、色々な問題を生じさせます。まずは食糧・水不足の問題が発生し、国家間の争いになります。最近でも米とかトウモロコシを輸出しないと云った国際的な問題が有りましたが、食糧に関しては遺伝子組み換え技術、水に関しては新しい水浄化技術、リサイクル技術が必要になります。

また、後進国や新興国の経済発展に伴い、生活向上のため大量のエネルギーが消費されます。これが地球温暖化に繋がっているため、今盛んに省エネ技術や石油を使わないクリーンエネルギーの開発が進められています。

地球温暖化問題は、石油を燃やして発生するCO₂が地上に蓄えられ、地上の冷却を妨げるため、地上の温度が近年急上昇してきている問題です。「IPCC」という気候変動に関する政府間機構が、世界各国からの科学者により長年に亘り蓄積してきたデータを元に、分析して出した結論で、ほぼ間違いないとされています。

そのため2010年にデンマークのコペンハーゲンで開かれるCOP15という国際会議で、京都議定書に続く次のCO₂ガスの排出量に関する国際的な取り決めをやろうとしています。日本も1990年比で何%削減できるかを検討しています。できるだけ石油を使わない脱石油技術という方向で、バイオポリマーとか再生可能なエネルギーや、CO₂ガスの再利用や地球内に封じ込める技術が開発されつつあります。

また、地球環境保護の観点からも空気、淡水、海水、油、土壌に対する浄化技術、クリーン燃焼技術などが進んでいます。遠い将来、温暖化が直ぐには止まらず、北極、南極の地上の氷が解けて、海水面が上昇し住居面積が減少する場

合には、沿岸を堤防で囲う土木工学が必要になるでしょう。

そしてこの100年間我々の快適な生活を支えてきたエネルギーや化学製品の元となる石油や稀少鉱物などの天然資源は後50～100年で確実に枯渇する問題に直面します。それに対して石油に頼らないバイオプラスチックやリサイクル技術が格段に発展するでしょう。

クリーンエネルギーの中で、特に太陽光電力は日本の技術が生かされ、政府も補助金を出して国際競争力を持つようとしているエネルギー源です。また、個別の家庭用に大気中の化学反応から得られる電気、所謂、燃料電池の実用化を2010年に計画していると発表しています。

世界の人口は増えていますが、日本の人口は2015年以降世界で類を見ないほど急速に減少し、2050年には1億人を切って65歳以上の人口が全体の40%近くを占める高齢化社会を迎えます。働き手が少なくなり、製造業、サービス業もそのままではやっていけなくなりますので、どうしても外国人労働者を受け入れる必要が出てきます。外国人労働者の増加に従って、その子供達のための学校制度等の整備が必要になりますし、老後の生活のための社会年金制度、保険介護制度などの新たな工夫が必要です。今の税制ではやっていけませんから、北欧のように消費税の増税は必須だと思います。

生産現場では更にロボット化が進展することも考えられます。技術の伝承も今までとは異なる工夫が必要です。家庭でも在宅介護ロボットが活躍する時代が来るでしょう。

他にも色々な変化が起こると思いますが、例えば自動車、航空機の燃料は石油燃料からバイオ燃料、或いは電気動力の利用が拡大するでしょう。電気自動車時代の到来は意外と早いかも知れません。そして省エネのために自動車に使われる材料は益々軽量化が求められ、安全装置の発達に伴って、ひょっとすればこれまで使われてきたスチール材料が変わって、屋根(ルーフ)などは繊維織物で充分になるかも知れません。色柄・デザイン自由に、取替え洗濯の効く屋根なんて、私は面白いと思いますが。

また、世の中は携帯電話が大活躍し、携帯一本で何でもできる社会システム、即ちユビキタス社会が近い将来来ることも予想されています。どこにいても居所が直ぐ分る、逃げも隠れもできないことになるかも知れません。こうした新しい世界に変わる中で、皆さんは技術・知識を身に付け、地球環境問題、食糧・飲料水、エネルギー等々の問題解決に役立つ新しい技術を、世の中に提供する重大な役割をもっていることを認識して欲しいと思います。

皆さんへの要望

さてこれから新入生の皆さんに五点ほど先輩として言って置きたいことを申し上げます。

第一は学校も含めた社会のルール、法律を守ると言うことです。このルールを安易に考えてはダメです。麻薬に手を出すなどはもっての外です。人生を台無しにします。企業はこのような人を絶対採用しません。当たり前のことですが、敢えて皆さんに申し上げておきます。

第二点目は本当の勉強はこれからと言うことです。学生時代は人生の一関門に過ぎませんが、どう過ごすかによって、後々に相当影響が出ます。今までは基礎知識の詰め込み勉強だったのではと思いますが、これからは成長のための専門と一般教養の自主勉強の時です。

これまでの人生を考えて見て下さい。多くの場合、ご両親が失敗のないように、先にレールを敷いて、その上を安全に先が見える所を歩いてきたのではありませんか？これからは親の助けは要りません、経済的な部分を少し除いて、できる限り独立して下さい。

松井学長の話では最近はこちらの前を予め掃いてもらい、そこを進むカーリング的學生が多くなったとのことですが、これからは自ら準備し、自ら学ぶ本当の勉強時代に入ったと自覚して下さい。自分で自発的に勉強すると言うことです。大学の先生は必要な時に活用するくらいの気持ちでいるのが良いと思います。

そしてこれからの視点について言えば、次の三点です。まず世界の情報を集め、組み立て、

自分で考え、工夫し自ら行動して、専門的な知識の習得に努めて下さい。それから一般教養としての日本、世界の歴史、宗教について勉強もして下さい。将来必ず役に立ちます。

そして三点目に語学力です。日本人は英会話が不得手の方ですが、ある程度のレベルを学生時代に身に付けてください。必ず将来必要になります。私も2回生の時に、アルバイトの金で、自発的に名古屋のYMCAで基礎的な英会話の受講をした経験が随分後で役立ちました。

修士や博士課程の皆さんは専門性を深めるだけでなく、政治、社会、経済に関心、興味を持って頂きたいと思います。そして世界で戦える技術、研究人材になって欲しいと思います。

知らないことを知る楽しさ、強制でなく自らの意思で目的、目標を定め、好奇心を維持して勉強する習慣を続けて下さい。

ここまでは勉強、勉強と言われて耳にたこができていますが、今からは逆なことを申し上げます。それが良く遊べと言うことなのですが、相反すると思われる二つの事象を同時にバランスよくやることなのです。

これは結構難しいことです。良く遊べと言う基本的な背景は「人とのコミュニケーション力を付ける」ということです。クラス、研究室とは異なる人達との付き合いも結構大事ですが、単なるメル友でなくFace to Faceを基本として下さい。人間として恋愛も大いに結構です。そして大いに悩んで下さい。恋愛が怖い、できない人は勇気を持って経験して下さい。

先に少し触れました「天地人」ですが、別の意味では「天の時は地の利に如かず、地の利は人の和に如かず」と言っています。「如かず」は及ばない、劣るという意味です。結局「人の和」が第一だと言うことになります。

「人の和」を創るにはコミュニケーションが必要ですね。コミュニケーション力は企業が社員に求める資質の一つだと覚えておいて下さい。その秘訣はまず相手の顔を見て、相手の意見を良く聞く傾聴力と、次に自分の意見を相手に分かり易く言う発信力、それに言ったことを

行動に移す行動力が備われば鬼に金棒です。

こうしてコミュニケーション力を付け、他の人達と協力し、目的を達して共に感動を分かち合い、常にわくわく・ドキドキする人生を送ることができれば最高の喜びだと思います。

工大の「工」の文字は二本の横線の上側が「天」、下側が「地」を示し、これらを結ぶ縦の線が「人」の営みを表します。人間は「天」即ち「宇宙」と、「地」即ち「地球上の自然」の間で、双方から多くの恵みを授かるという共存関係にあるので、これからも是非、宇宙的、地球的な視野を持って頂きたいと思います。

さて第四点目は人間力を磨くと言うことです。人間力って何だと言うことですが、皆さんは滝沢馬琴の南総里見八犬伝をご存知ですね。八つの徳を示した玉をそれぞれ持った八人が最後には一同に集まり目的を遂げると言う、ごく簡単に言えばそんなストーリーです。この八つの徳、「仁・義・礼・智・忠・信・孝・悌」の中で最初の「仁」、即ち「相手への思いやり」が徳の中でも最高の徳とされています。簡単なようで身に着けるのが中々難しい徳です。人間力というのは徳を磨くと言うことです。

この仁の次にはリーダーシップを磨いて欲しいと思います。リーダーシップは企業に入って社会人となり、幹部社員として教育する最も重要なポイントだからです。研究室、クラブ何処でも良いので、他人と協働の中でリーダーシップを意識して欲しいと思います。

リーダーシップ性を磨くためにも、内に籠らず、積極的に外に出かけ、機会があれば是非海外にも出かけ、違う世界を経験して下さい。グローバルな世の中、企業においても否応なしに海外生活を送る機会は多いですから。自分の考え、自分のやり方とは違う全く反対の考え、やり方があることを知ることができます。

「良く学べ、良く遊べ」、相反する事象のバランスが大切と言いました。専門性だけでなく、一般教養も身に付けるということも同様です。左脳、これは論理的な働きをするのですが、この左脳と情緒的な働きする右脳の働きを左右で

バランスさせる訓練が大切です。「知」と「情」のバランス、即ち「学ぶ心」と「遊ぶ心」のバランスをに心がけると言うことです。

人の心が分るには、自分の立場と反対側の相手の立場から見る訓練をすることです。また、自分の利益のためにだけやる、所謂、利己、これこそアメリカ金融問題の原点ですが、その反対側の利他。他人のために利益を与えること、幸福を願うこと。これこそが日本人が本質的に弥生時代からDNAとして持つ「共存共栄」主義なのです。常に反対側からものを見、考える人に成るように努力して欲しいと思います。

さて最後の五点目です。皆さんは比較的順調な人生を送ってこられたと思います。親から離れ、独立心を持って、自分の考えで行動し、新たな学生生活を送る時、必ず何らかの失敗や困難に出会います。しかし、失敗やミスのない人生は絶対ありません。失敗は成功の元でもあり、困難を克服すると自信や耐ストレス性が生まれます。先程述べた、学ぶということに「自分ができるか、できないか分からないことに挑戦する」という意味が含まれており、不確実なことに明るく立向かい、失敗を恐れず挑戦してこそ、人間は何歳になっても脳の若々しさを保ち、心の老化を防ぐことができると、脳科学者の茂木研一郎さんは言っています。

企業でも失敗をしますが、成功した事例より、むしろ失敗事例から学ぶ方が多く、積極的に新たなことに挑戦した失敗は許されると考えています。上手く行かなかったり、失敗したらどうするか。失恋したらどうするか。全てのケースで反省することですね。反省して原因を考え、次の新しい仮説（考え）を立てて、実行する。そして結果を検証して、また行動する。上手く行けば上々、行かない時はまた新しい考えで何度もやり直す。これが人生だと思います。

失敗や挫折を経験しない人間は魅力がありません。幅広い人間力、魅力のある人になるように努力をして下さい。今から10～20年後には社会に入って、自ら考え、自ら行動を起こし、周りを引き込んで、社会に役立ち、貢献するリー

ダーに育てて欲しいと思います。

各企業によって学生を採用する時の要件は少しずつ違うと思いますが、平均的な要件を申し上げますと次の三点です。

まず一点目。企業は言われたことをやるだけでなく、自ら目標を設定し、失敗を恐れずに行動に移し、粘り強く取り組む人を求めています。即ち実行力のある人を求めているのです。二点目は前にも言いましたように、コミュニケーション力のある人です。ここでは人間関係が上手く取れる能力を言っています。そして三点目がいつも好奇心を持ち、問題点或いは課題を見つけて、提案する能力です。これら三点を卒業までにある程度培って下さい。

おわりに

では本日の講演のタイトルにも有ります「将来の日本を担う技術者に」なって頂きたいということについて少し述べます。

平成時代、日本は世界的に見て最早、欧米、中国のように政治力、軍事力では勝てません。唯一の可能性は経済力と平和力です。平和力。「和を持って、尊しとする」という聖徳太子の17条憲法ですね。稲作文化を持つ日本人の共存共栄の思想を今、世界に打ち出すことが必要と考えていますが、「自分のために」だけでなく、「他人のために」を考える、或るいは行動することが益々必要になったと思います。

日本は金融、IT、小売業、外食といったサービス産業では世界で弱い立場です。比較的強いのは製造業で、欧米の先進国が段々ものづくりを止めて、労働賃金の安い国に生産を移す中、日本はまだ高品質、先端技術の開発を続け、世界をリードできる状況にあります。特に「地球環境保護」関連技術を中心に、日本はものづくり技術開発立国、環境技術立国として生きていかねばならないですし、他にないと考えています。日本のものづくり技術、環境技術を皆さんも継承、発展させ、日本の将来を担い、世界に貢献して欲しいと思います。

私共の帝人社内でも技術研究者、営業、スタッ



写真2: 松井学長(左)から名誉博士号を授与された長島氏(右)

フに対して、内に籠らず、外に出て、違う世界を知り、外から会社を見るよう話しています。勇気を持って外に出て、色々な経験を積んで下さい。専門知識だけでなく、幅広い一般知識も身に付け、将来は世界で通用する研究技術者、経営者になって活躍して欲しいと思います。

英語力は必要です。帝人の場合、課長クラスはTOEIC630点、部長クラスは730点をクリアする人という基準を持っています。皆さんも学生時代から是非、英会話を準備して下さい。

最後になりますが、本日ここにおいて頂きましたご父兄の皆様にご一言お願いがあります。

独立心を持つ人間にしてやって欲しいと言うことです。先に先にルールを引くことはせず、彼らが自ら考え、行動を起こし、そして回り道しながらも目的を達成するよう、見守り、影からサポートすることを考えて欲しいのです。

以上、新入生の皆さん、そしてご父兄へのご願いをして、私の話を終えます。新入生の皆さん、どうか未来の明るい世界を作るために頑張ってください。ご清聴有難うございました。

長島 徹 氏 略歴

名古屋工業大学工学部繊維工学科

昭和40年3月卒業

帝人株式会社 昭和40年4月入社

同 取締役 平成12年6月

同 代表取締役社長 平成13年11月

同 取締役会長 平成20年6月

現在に至る

トピックス

名工大の学生支援

名古屋工業大学の学生支援について

名古屋工業大学 教育担当副学長
梅原 秀哲

国立大学が平成16年4月に法人化され、各大学が自由に競争できる体制となったことや、文部科学省が国公私を問わず教育や学生支援におけるユニークな試みに対して競争的資金を導入したことで、各大学における学生支援はそれまでよりもかなり充実してきました。

本学においても、平成17年4月に工学教育総合センターが設立され、このセンターの下に入試全般を扱うアドミッションオフィス、教育全般を扱う創造教育開発オフィス、就職とキャリア教育全般を扱うキャリアオフィスの3つのオフィスを設けて、学生の入学から卒業まできめ細かい支援を行うようになりました。平成18年度から20年度までの3年間、文部科学省から「特別教育研究経費」（事業名称：充実した【学びの場】の構築）を獲得したこと、平成19年度から21年度までの3年間、文部科学省現代GP「実践的総合キャリア教育プログラム部門」（事業名称：【啓き・支え・促し】連携キャリア教育）を獲得したことが、飛躍的に名工大の学生支援を高めることになりました。これらの事業は教員だけでは決して行うことはできません。アドミッションオフィスに対しては入試課、創造教育開発オフィスに対しては学務課、キャリアオフィスに対しては学生課の職員がサポートし、文部科学省から支援された事業に対しては、担当の課の職員が全面的にバックアップをして事業を円滑に進めています。

また本学では、学生の様々な悩みに対応できるように、多種多様な相談室を設けています。心の悩みに対しては保健センターのメンタルヘルス相談室、進路や修学、ハラスメントに対しては何でも相談室、勉学に対しては学習相談室、就職に対しては就職相談室があります。さらに、充実した【学びの場】の構築の事業の一環として、2年前からICチップを埋め込んだ学生証を配布し、学生が授業で教室に出入りする際に

学生証をかざすことにより出欠を取るシステムが導入されました。これにより、不登校の学生を早期に見つけだすことが可能となり、これらの学生



に最適な相談室を紹介することによって、できるだけ早く対応策を講じています。

在学生の父母等を会員としている名古屋工業大学後援会と卒業生を会員としている名古屋工業会から、課外活動費の援助、工大祭等への助成、就職・キャリア支援事業費の助成など様々な財政的な支援を受けています。特に課外活動については、体育系クラブ、文化系クラブおよび同好会を合わせて、学部学生の約4割が加入しています。毎年2月に、その年度中に全国大会で優秀な成績を修めた団体や個人に対しては学長表彰を、東海地区で優秀な成績を修めた団体や個人に対しては学生部長表彰を行い、課外活動の活性化を図っています。これら褒賞費を含めて課外活動の費用の大半は、後援会や工業会からの支援費でまかなっています。

本学は、卒業生の皆様の長年の奮闘に支えられ、国立大学の中の工学系単科大学として、全国有数の評価をいただけてきました。そして、その優位性をより強化できるように、学生の教育に、卒業生の質の保証に努力しています。しかし、今どきの学生は教育面だけでなく、メンタルな面や財政的な面など様々な方面できめ細かい支援を必要としています。卒業生の皆様のご支援に対して、この場をお借りしてお礼を申し上げますとともに、学生のキャンパスライフを充実させるために、今後とも暖かいご支援をお願い申し上げます。

トピックス

名工大の学生支援

国立大学が法人化された翌年である平成17年4月1日に本学にきわめて異色なセンターが設立されました。名称は「工学教育総合センター」と言います。しかも、センターの中にある3つのオフィスのひとつは「創造教育開発オフィス」という訳の分からない名称を名乗っております。実はこれこそ今の大学を象徴している名称なのです。

ご存じない方も多いかと思いますが、「大学設置基準」という文科省の省令があります。これは、文科省が大学を設置する上で必要な基準を定めた法令です。この法令、実はかなり細部まで規定しております。たとえばその第十四条に「教授の資格」があり、教授とはこうした資格が必要であるということがかなり細かく定められています。この法令は時代に応じてときどき改正されるのですが、こうした改正のうち、一昨年の平成19年7月31日に公布され、昨年4月から施行されることになったある改正がきわめて重要な意味を持っています。それは第二十五条の三にある「大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする」という条項です。従来は「実施するように努める」とあったものが、今回「実施するものとする」と改正されたというわけです。それまでは単に努力義務に過ぎなかったものが今回の改正でいわば義務化したということです。

つまり大学の授業に関し、それを改善するための組織的な取組を実行しなさいというわけです。言い換えれば、「大学は、

「工学教育総合センター」の設置とその後の活動

名古屋工業大学 工学教育総合センター長
教授 大貫 徹

大学全体の方針として、たとえばある組織がその取組の中心的な推進役となるような形で授業改善等を進めなさい」と文科省が明



確に指示しているということです。大学の授業は担当する先生が勝手にやっておればいいのかという時代は疾うの昔に過ぎ去ってしまいましたが、今回の改正で、個々の先生が自分なりに授業改善を進めて行けば良いのだというわけにも行かなくなったということです。

ポイントは「組織的に」授業改善を行いなさいという点です。先に触れた設置基準の改正は平成20年度から実施ですが、本学ではそうした流れをいち早く汲み入れ、その3年前の平成17年度に「工学教育総合センター」を設置し、さらに大学の授業改善等の推進をその主な任務とする「創造教育開発オフィス」をその中に設け

工学教育総合センター

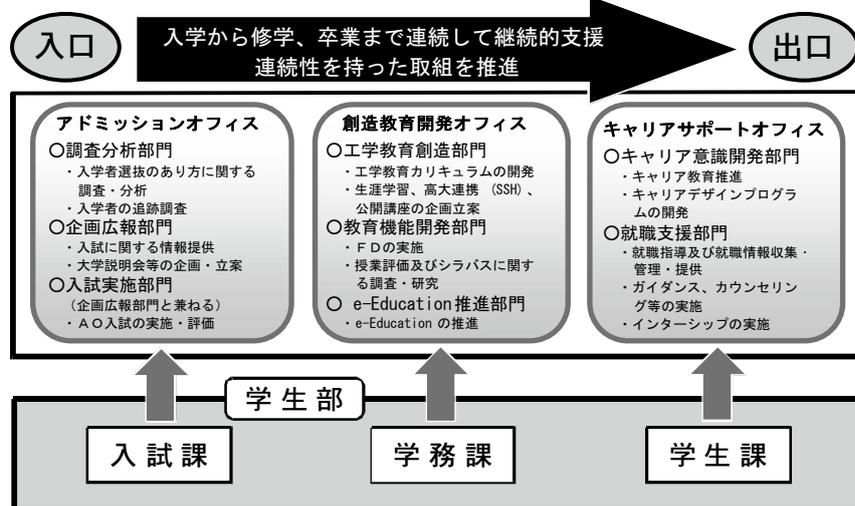


図1. 工学教育総合センターの組織と役割

たということになります。したがって、先に訳の分からないと称した「創造教育開発オフィス」の名称は、実は「教育開発」という箇所にも最大の意味があり、そしてそうした「開発」を今後「積極的に創造しますよ」という意気込みも込めた名称ということになります。訳の分からないどころか、むしろ逆にきわめて含蓄のある名称ではないかと誇りに思っております。

今回の設置基準の改正に典型的に示されているように、今の大学には「学生が学ぶためには何をすべきか」という観点から大学教育全体を再構築することが強く求められています。こうした要請を踏まえ、「工学教育総合センター」は、入学から修学、卒業および就職に至るまでを総合的に把握した上で、継続的な学生支援を推進すると同時に名古屋工業大学の工学教育の質を向上することを目的とし、それぞれの任務に応じて設置した3つのオフィスを抱えています。詳しくは前ページの図1をご参照下さい。

本センターの任務等は図の通りですが、しかし学生側から見れば、入学から卒業、就職に至るまでの流れの中に切れ目があるわけではありません。3つのオフィスという区分はあくまでも便宜的なものに過ぎません。そのため本センターでは「継続的な学生支援」という一節を入れることで、学生側に立っての教育支援であるという観点を忘れないようにしています。

さて、先に述べたような趣旨の下、平成17年4月にスタートした本センターも今年度で5年

目を迎え、それなりに形を整えてきました。『アドミッションオフィス』については高木オフィス長の記事に詳しいですが、入試課と連携しながら本学の入試全般に関し企画立案を行うだけでなく、アドミッションオフィス長の超人的な働きにより「東海北陸地区国立大学入試広報連絡会」という大きな組織を立ち上げました。

また『創造教育開発オフィス』にあっては、平成18年度から平成20年度までの3年間、文科省から「特別教育研究経費」（事業名称：充実した【学びの場】の構築）を獲得することで、学務課と連携しながら本学の授業改善の推進に努めてきました。とりわけ強調したいのは、平成17年度から「公開授業」を推進してきたことです。いわゆる授業参観の取組です。その件数も少しずつ増え、19年度は24件、20年度は14件実施しました。「公開授業」を推進するのは、授業改善を進める上でもっとも良い手段であると考えからです。実際、自分の授業を公開し、同僚の教員に「授業参観」（ピアレビュー）してもらうのは、授業担当者としてはかなりの緊張を伴うものですが、しかし自分の授業運営を省みるもっとも良い手段ですし、同時に、授業参観者である同僚教員からのコメントを通じて、別の見方や思わぬアドバイスを得ることもあるからです。当オフィスでは写真1にあるように毎年「公開授業報告書」を刊行しています。

さらに『キャリアサポートオフィス』にあっては、当オフィスメンバーが中心となって学生課と共に申請した「〈啓き・支え・促し〉連携キャリア教育（ISEC教育）」が、文科省の現代GP取組（実践的総合キャリア教育プログラム部門）に採択されました。詳しくは水谷オフィス長の記事をご覧ください。こうした申請も、（多くの方々は「名工大に就職支援が必要なのか？」と思われるかもしれませんが）ある意味、時代の先を見越した動きではないかと自負しております。実際、GP取組では、名工大を卒業した学生が社会に出てさらに大きく伸びるための仕掛けをいくつか考えてあります。

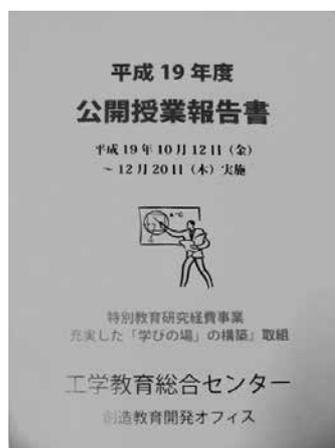


写真1. 公開授業報告書

トピックス

名工大の学生支援

アドミッション・オフィスの紹介

名古屋工業大学 アドミッション・オフィス長
教授 高木 繁

大学の「アドミッション」と言われてもピンと来ない方も多いかと思えます。いわゆる学生募集（入試）のことです。アドミッション・オフィスは学生募集全般を行うために設立された部署で、受験生への広報、入学者選抜方法の改善、受験生の動向の分析を行っていますが、特に広報と動向分析に力を入れています。

18歳人口の減少により、大学全入時代に入ってきているわけですが、国立大学もかなり苦しい状況になってきています。特に、「理工系離れ」の影響で、工学部の学生募集はこれまでにないほど難しくなっています。皆様の時代には、高校は理系クラスの数の方が多いのが当たり前だったかもしれません。しかし、現在では理系クラスは1クラスか2クラスで全体の人数の1/3以下という高校が大部分を占めています。この状況の中で、受験生を確実に確保していくのがアドミッション・オフィスの最大の使命です。東海北陸地区の大学で、このような専門組織を置いているのは、名工大以外では静岡大学、福井大学、富山大学しかありません。その意味では、名工大は先進的な大学だといえます。

オフィスの具体的な活動内容について紹介します。

1. 学外での説明会

国立大学も学外での説明会には積極的に参加しています。高校が主催するもの、受験産業が主催するものなど様々なものがありますが、オフィスでは年間50回ほど説明会に参加しています。名工大の単なる宣伝だけでなく、工学の楽しさを伝え、少しでも工学部志望を増やすことが目的です。

現在では、入試広報を合同で進めていくため

の連合組織を結成しています。東海・北陸・信州のすべての国立大学が参加する「国立12大学入試広報連絡会」（名古屋工業大学、愛



知教育大学、金沢大学、岐阜大学、静岡大学、信州大学、名古屋大学、富山大学、豊橋技術科学大学、浜松医科大学、福井大学、三重大学)、東海地区の主要な理工系大学が参加しているTEC11 (Tokai area faculty of Engineering Consortium 11: 名古屋工業大学、岐阜大学、静岡大学、豊橋技術科学大学、三重大学、愛知工業大学、大同大学、中京大学、中部大学、豊田工業大学、名城大学)で、僕が両連合の代表になっています。名工大は、現在の東海地区での入試広報の要となっています。そんなことをして何の得があるのだろうかという疑問に思う方もいるかと思いますが、地区全体に名工大こそが要という認識が定着すれば、高校側の印象も大きく変わると考えています。国立大学の連合の合同説明会は、名古屋だけでなく、金沢、松本、神戸でも開催しております。その地域にお住まいの卒業生の方でお子さんが高校生という方は、是非お子さんに参加するように勧めてください。今の名工大の構成は、昔とはかなり異なっていますので、現在の名工大の姿を知るには最適な場であると思います。開催日時などは名工大のホームページに掲載いたしますので、随時ご確認ください。

2. 名工大独自の活動

最も力を入れているのがオープンキャンパス

です。昨年、オープンキャンパスの報告を「ごきそ」(No.425, p.26)に載せていただきましたが、大学の内容を知るためにはオープンキャンパスが最適だと思います。21年度のオープンキャンパスは、6月13日(土)、8月4日(火)、11月14日(土)に行います。アドミッション・オフィスは、オープンキャンパスの内容を決めるという役割を果たしています。また、受験生や保護者対象の相談コーナーも開設しています。遠くにお住まいの方は大変かもしれませんが、是非、今の名工大の姿をお子さんと一緒に見に来てください。

その他の大きな活動としては、「学科選びのガイドブック」を発行しています。工学部は、高校生にとって学科名称から内容がわかりにくいという欠点があります。勿論、高校の進路指導の先生にとっても同じことです。そこで、思い切った切り口で工学部の内容を説明するガイドブックを平成19年度から作成しています。全国的に見て、工学部は入学後の退学率が最も大きい学部です。入学してみたら、自分の考えていたものとは違ったというケースが多いと言うことです。ですから、高校生にとってもイメージしやすい形で内容を説明する必要があります。そのために作成したものです。高校の先生方にも大変好評です。ただ、他大学の入試広報担当者にも非常に好評なので、似たようなものが今年あたりは出てくるかもしれません。

学内向けの活動としては、近隣の大学や全国の受験生動向の解析があります。模擬試験の結果を入手し、入試結果と組み合わせることにより、来年度の入試の予測を行うというものです。模擬試験の結果は莫大な量のデータですが、その中から必要なものをピックアップして解析しています。また、予備校や大学入試センターで行っている手法を取り入れて、入試結果を解析することも行っています。これらの情報に基づいて、入試広報の戦略をたてています。最近是不況の影響で、機械系、電気情報系の人気はかなり落ちています。その点を、どうカバーして

いくのかは非常に難しいことですが、とにかく対抗策を立てていくのが、我々のオフィスの役割です。

3. 今後の戦略

入試広報そのものは地道な作業であり、それほど派手な手法はとれません。(名城大学の入試全体の予算は3億という話ですから、金額面では国立大学はとうてい太刀打ちできません。)少しでも新しい手法を開発して取り入れていくというやり方でいくしかないと言えます。18歳人口の減少はここにきて歯止めがかかり、約10年間は維持される予定です。しかし、その後はまたどんどん減少していくと予測されています。10年後には、大学は大きく淘汰されることとなります。ですから、毎年を受験生を確保することはもちろんのこととして、10年後に余裕を持って対応していける基礎体力をつけることも重要になります。このためには、(1)理系離れに真の意味での終止符を打つこと、(2)教育力を大きく伸ばすこと、(3)就職状況をさらに向上させることの3点を中心において、広報活動を展開していこうと考えています。

最後に、卒業生の皆様へのお願いです。お子さんの進学先として名工大を是非候補に入れていただきたいということと、地方での名工大の活動に対して、何らかのご支援をいただきたいということです。この10年間に、名工大を再び全国区の大学としたいと強く考えております。そのためのご支援をいただければ幸いです。今後とも、名工大をよろしく願いいたします。



オープンキャンパスに来場する高校生

トピックス

名工大の学生支援

学生の就職支援を行っていたキャリアオフィスは、より実践に即す活動を行うように組織替えが行われ、名称もキャリアサポートオフィスと平成19年度に改名された。そのオフィス長に水谷、副オフィス長には「なんでも相談室」の室長を長年務めた山下啓司先生が任命された。大きな目標とするところは、これまで各学科任せであった就職指導を含めたキャリア形成支援を全学体制で組み立てることである。特に学生のキャリア形成を促す仕組み作りを正課、正課外教育を通して行っていくことが最大の使命である。

キャリアサポートオフィスが新たな動きを始めて2年目のこの秋、アメリカを震源とした世界同時経済不況が日本をも襲い、多くの学生は自身の将来に関して大きな不安を抱いている。しかし、こんな時だからこそ、これからの自身のキャリアパスを真剣に考え、そのために今名工大で、何をし、何を学ばねばならないのかを学生自身、しっかりと理解し、計画的に学修できるように支援することが重要である。

そのために、キャリアサポートオフィスでは、平成19年に文科省に採択された「現代GP取組」(【啓き・支え・促し】連携キャリア教育・

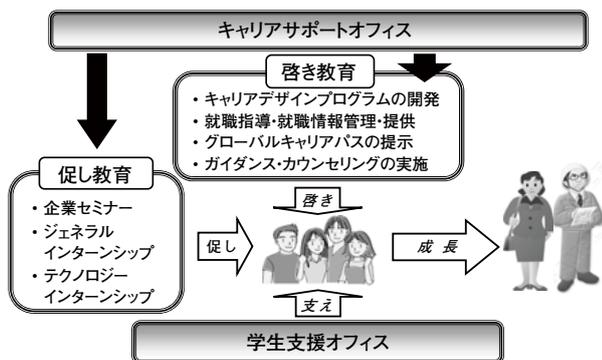


図1. 19年度現代GP採択
(啓き・促し・支え) 連携キャリア教育

就職氷河期だからこそそのキャリア形成の必要性

名古屋工業大学 キャリアサポートオフィス長
教授 水谷 章夫 (A51)



ISEC教育)の下、学生課と協力して、まずは本学学生のキャリア形成を支援する仕掛け、さらには、就職活動を支援する仕掛けづくりを行っている。

本プログラムでは、従前よりなされてきた啓かせるキャリア教育を充実させ、迷える学生諸君の下支えをも行う計画である。さらには、インターンシップ教育や企業研究セミナーによって、彼らのキャリア形成意識を促進させることが本GPの主目的である。大きな仕掛け作りとしては、以下の二つを考えている。

①本学各部局に入ってくる就職採用情報をキャリアサポートオフィスが取り持つ連携によって集積させ、本学学生に特化した就職情報として、学生諸君に提供するシステムである。そのために学生ポータルサイトを利用した本学独自の就職ナビゲーションシステムを作成中である。

②本学に関連する企業各社と連携して、学生

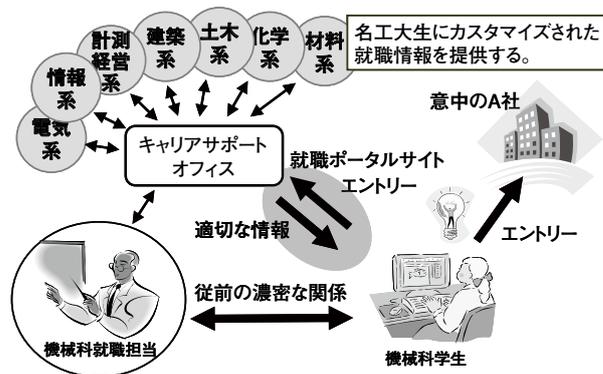


図2. 名工大就職ポータルサイト

に本学特別枠のインターンシップ環境を整え、就業体験を積ませることがあげられる。これらGPの資源を利用しながら、以下の学生支援を行ってきました。

まず、キャリア形成支援のための仕掛けとしては、彼らが自身のキャリアパスを考える際に、今何を考え、何を行うべきかを考えさせる各種セミナーを開催した。特に今年度は78社もの企業からの賛同を得て、企業で活躍している本学卒業生から後輩たちへのメッセージを収録した「名古屋工業大学VOICE企業・業界別本学出身者の声」を発刊し、学部3年生（二部4年生）および修士1年生全員に発送した。

また、併せて85社もの企業からの賛同を得て、促し教育としての本学独自のジェネラルインターンシップ制度を立ち上げることができた。各々の企業に名工大生の為のインターンシップ枠を特別に作っていただいた。105名の学生が応募し、専属のインターンシップコーディネーターによる調整が必要となり、結局、時間や希望職種など、マッチングに多少の問題は出たが、79名の学生が56社の企業へ二週間から一か月のインターンシップへ参加した。本年度の試みを聞いて、新たに本学枠を確保する予定の企業も増えており、次年度はもっと多くの学生にインターンシップの機会を提供できるものと考えている。工業会ともタイアップしてさらに名工大に特化したインターンシップ制度が作れないものかと画策しているところであり、会員諸氏の

ご協力を期待するものである。

また例年好評の「企業研究セミナー」では、本年度も286社におよぶ優良企業の参加を得て、吹上ホールにて2日間で延べ2,100名にも及ぶ本学学生が企業研究を行った。会場は一日中熱気が盛り、学生のいつにない真剣な眼差しが眩しかった。

就職活動支援部門では、就職ガイダンスを折々の時期に合わせて開催し、とりわけOBの声を聴くガイダンスでは、上場企業10社から元気のいい卒業生が後輩達のために集まってくれた。当日は講堂が一杯になるほどの盛況であり、パネルディスカッションを通して、現場の声を聞くことができた。

さらに、年明けには模擬面接も行った。大学会館の就職資料室では、毎日、本学専属の就職相談員による就職相談に応じられる体制を整え、就職相談員を講師としたミニ講座も開催した。これに加え、各学科・専攻の就職担当教員との連携も密に行い、各学科・専攻固有のものも含め、本学に入ってくる自由応募に関する求人情報を集約し、学生ポータルサイト上で公開するシステムを立ち上げ、多様化している学生ニーズに対応するための仕掛けを作った。このように本学のキャリア形成支援システムは毎年進化している。是非とも卒業生諸氏のご協力、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



写真1 企業研究セミナー風景



写真2 講堂を埋め尽くす学生たち

トピックス

名工大の学生支援

素人集団による学生支援～名工大の試み～

名古屋工業大学 学生なんでも相談室長
教授 山下 啓司 (W55)

卒業生の皆さんこんにちは、私は学生なんでも相談室室長をやっております、生命・物質工学科の山下 (W55) と申します。みなさんは「学生なんでも相談室」ってご存知でしたか？大学で悩みを抱え、登校できなくなっている学生や、自分の進路を決められなくて、フラフラしている学生の相談にのるセクションです。「何だそれ？自分たちの在学時代はそんなもん無かったぞ！」とか、「何を甘いことをやっているんだ、だからふにゃふにゃの新卒生が会社に入ってくるんだ!!」っとお怒りの方も多々おみえではないかと推察いたしますが……これが現状なんです。今、相談室を持っていない大学なんて、日本中どこを探しても見当たらないのです。本学のような専門の心理カウンセラーも居ない工業大学ですら、工学部の教員が中心となって素人集団の相談室を運営している有様なのです。そんな名工大の学生支援の現状をお話しします。

本学において「学生なんでも相談室」が実際に稼働し始めたのは、法人化を前にした平成14年年初でありました。教職員という学生支援においては全くの素人集団によって、悩める学生の来談を待ち受けていましたが、当然のように来談数は極めて少なく、H14年度、H15年度を

併せても50名ほどでありました。その後、相談員の厳選、システムの改善を図り、H16年度には年間来談者数は700名を超えるようになったのです。本学の学生支援システムを図1に示します。本学には学生なんでも相談室のほかに、学習相談室、先輩のいる学習室、保健センター、クラス担当委員、ハラスメント相談員、就職相談室、など多彩な相談システムが整備されています。学生は学生生活の大小様々な悩みごと、相談を抱えて、まずは学生センターにあるインターカー(受付)の所を訪れるのです。相談室で済ませられることは相談室で、他の手助けが必要な場合は各システムに繋がります。もちろん、他の相談システムから相談室へ回ってくることもあります。すなわち、本学の相談システムはそれぞれが有機的に連携して、広く学生の相談に対応しているのです。



相談の多くは修学面での相談です。また自身の

進路についての相談も多くあります。もちろん心理面での相談もありますが、そういう場合はできるだけ速やかに保健センターに繋ぐようにしています。相談件数は毎年どんどん多くなり、昨年末より非常勤の臨床心理士の方に毎日相談室に入ってもらうことによ

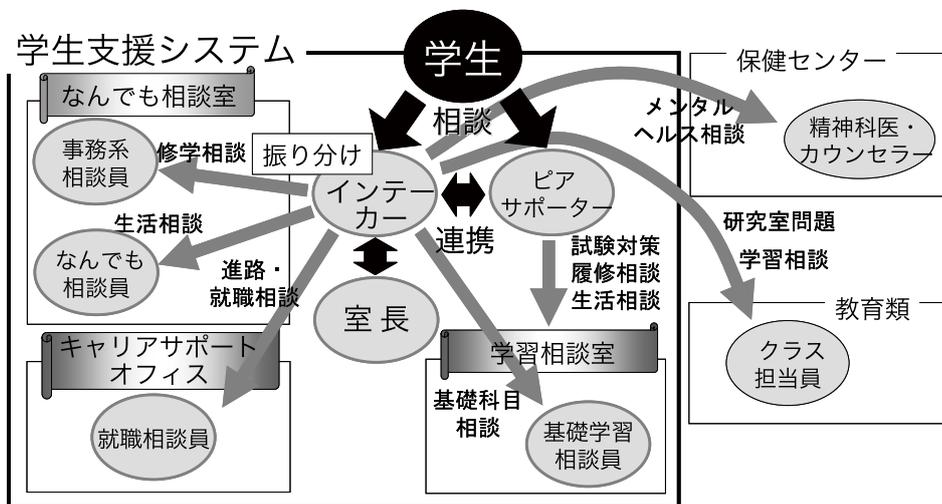


図1. 名工大の学生相談システムの機能

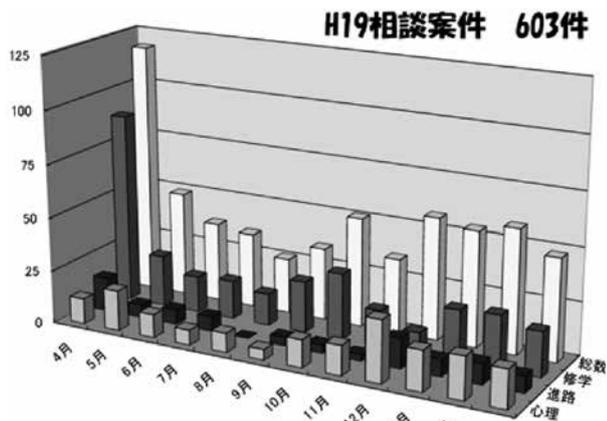


図2. 19年度年度学生なんでも相談室相談案件

り、本年は飛躍的に相談件数が増加しております。

そんな相談の中で特徴的なものが二つあります。一つには大学に入って、目標を失ってしまった学生や、数学や物理に付いて行けなくてやる気をなくしてしまった学生です。以前ならば横の繋がりや、先輩からの情報で何とかこなせていたことが、近頃の学生には解決できないのです。そこで、H17年度よりは授業に付いてこれられない学生のための学習相談室も開室し、より広い間口を設け、悩める学生のフォローに努めてきました。しかし学習相談室の利用率は極めて少なく、そこで学生による学生支援、即ちピアサポートシステムを立ち上げることにしました。ピアサポーターは大学院生を中心として、学習、学生生活、進路就職に関する相談を受け、メンタル面での相談はすぐに「なんでも相談室」のカウンセラーに繋ぐシステムをとっております。相談件数は本年度12月までで400件を超えるほどの多くの利用があり、本学学生支援に大いに寄与いたしております。本学のような工学部の学生しかいないところでは、サポーターたちには余計な負荷は掛けられず、先輩として後輩の面倒をみる形で相談に乗ってもらっています。彼らは本学の第二のインターカーとして機能しています。

もう一つの相談の柱に、特に理系大学院で多発する、アカデミックハラスメントへの対応があります。研究室に配属され、先生の厳しい指導に耐えられずに潰れていく学生たちのフォ

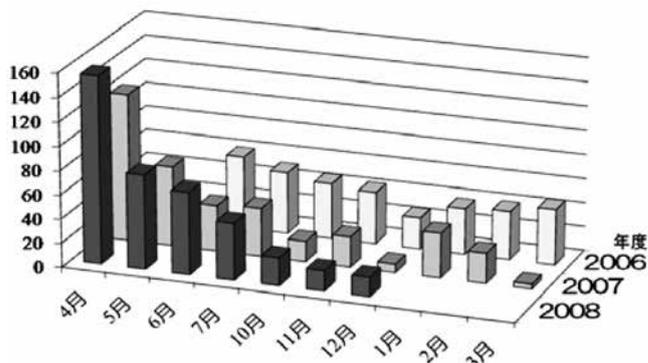


図2. ピアサポート相談件数

ローです。これをアカデミックハラスメントとして片づけることでは、誰も幸せになりません。教員も学生を苛めているわけではありません。その先生の下で、立派に研究できている学生もいるのです。ただ、先生とその学生が合わなかつただけ。つまりミスマッチなのです。堪えること、厳しく指導されることも大事ですが、限度を超えた場合、取り返しがつかなくなる前に、指導教員や部局長とお話をさせていただき、学生の所属の変更をお願いしております。我々に関わるだけでも、毎年10件近くの案件があります。



また、進路面での相談では、就職相談室やクラス担当委員の先生方と連携して、まずは悩みや望みを聞いてあげること、そして、彼達に考えさせることを心掛け、キャリアパスの形成支援を行っております。カウンセリングに関しては素人でも、工学を通じた人づくりのプロ集団が各種学生支援システムを通して、皆様の後輩（もしかすると御子弟）の教育にあたっております。ご安心くださいませ。



ハラスメント？



厳しい教育？



トピックス

名古屋大学の学生支援

学生のメンタルヘルス支援

名古屋工業大学 保健センター長
大学院産業戦略工学専攻教授・精神科医 粥川裕平

はじめに

大学は高等教育の最終段階であるとともに、知識の拡大再生産をする研究機関でもあります。昨年来の世界的不況で、学生の就職戦線は未曾有の狭き門になり、メンタルヘルスの不具合が増えています。40年前に年間1万2千円だった学費は、いま40倍を超える高学費のためにバイトを余儀なくされ単位修得が疎かになるという悪循環も生まれています。工学部は留年率も高いことに示されるように単位修得も容易ではなく、学生のストレスも大学受験以上のものがあります。そうした学生をとりまく状況の変化を述べながら、メンタルヘルス支援の今日をご紹介します。

I 変貌する大学

昔の大学進学率は2～3%程度でテクノクラートの養成を使命としていましたが、今日大学進学率は50%を超え、遅からず大学全入時代に入ると予測されています。既に定員割れを起こしている学科、学部、大学も出始めています。百年の風雪に耐えて存続してきた本学が今後も生き残れるのか。それは毎年優秀な人材が入学されるか否かにかかっています。

「ものづくり」「ひとづくり」「未来づくり」の3つをスローガンに掲げた本学では、その最大の資源である健康についての認識は、まだ十分浸透しておりません。人材育成は4年から6年程度の大学生活で十分に果たせるものではなく、社会人となって10年くらいを要するものですが、青年の成長を二つの視点で見てゆくことを先輩諸氏には望みたいと思います。入社早々、高い適応を示し即戦力として活躍する青年。過剰適応ともいえる青年は、心身症やうつ病などを発症するリスクも抱えており、沢山の仕事を一挙にさせないような配慮をお願いしたいと思います。一方、大器晩成型の青年、即ち入社

5年を過ぎてから徐々に力を発揮するタイプです。即戦力にならないからと言って短期でポテンシャルの高い人材を切り捨てないようにしてほしいと思います。



II 名古屋工業大学における学生のメンタルヘルス支援

キャンパスにおける学生のメンタルヘルス支援の課題は沢山あります。(1)メンタルヘルスの普及啓発、(2)うつ病、双極性障害、統合失調症などの精神疾患の早期発見と早期治療と自殺予防、そして復学支援と再発予防支援、(3)アカデミックハラスメント被害者の保護と支援などがあります。

(1) メンタルヘルスの普及啓発

大学では学生のメンタルヘルス支援が第一の課題であり、クラス担当委員会議や学生指導研修会などで若手教員や学生部の事務職員を対象とした研修会が年1回開催されています。入学直後に不登校になった学生、研究室に出てこれなくなった学生の支援を、学生部とクラス担当教員が中心になって行う取り組みが始まりつつあります。他大学では学生に対するメンタルヘルスの啓発講座なども設けられていますが、残念ながら本学では専門教育重視の流れの中で、中断されたままです。

(2) うつ病、双極性障害、統合失調症をはじめとする精神疾患の早期発見と早期治療

わが国の大学生の自殺は、世界標準の人口10万人対13人という高い比率です(ちなみに国民全体では世界標準の2倍の26人に及んでいま

す)。大学生の8千人に1人が自殺していることとなります。自殺という痛ましい事態は、本学でも4年間で3名という数値に上ります。新入生で登校しないまま自殺された方、卒業際に、就職が決まっていなかったり、就職が決まっているのに卒論・修論がまとまらなかったりというストレスがかかる状態での自殺も見られました。なんとかそうした不幸な事態を少しでも減らせるように、保護者の方々にもご理解とご協力をお願いしたいと考えております。したがって、うつ病をはじめとする精神疾患の早期発見を行うことが第一のきっかけとなります。では、具体的にどのようにして精神的不具合の早期発見を行うのか。学生自身の変調の自覚、保護者や指導教員の気づきなどが早期発見の糸口となります。加えて、本学では、入学手続き時および定期健康診断時にメンタルヘルスチェックを行っています。

臨床検査値などでチェックしやすい身体疾患に比べて、精神疾患は、主観的訴え（自覚症状）に依拠する診断技術の限界があること、身体的不調に比べて、精神的不調は、本人や家族も特別な出来事として受け止め、周囲の目を憚ったり、特殊な恥ずべき事態であると思いついてしまう傾向があります。しかし、心の病も身体の病も、ヒトの病であることに変わりはありません。入学手続き時のメンタルヘルスチェック（UPI University Personality Inventory）および定期健診時のメンタルヘルスチェック（睡眠習慣と不眠の有無、うつ病の9項目診断：PHQ9）を行い、早期発見に取り組もうとしています。UPIやPHQ9で高得点の学生にはダイレクトメールを出して、面接をお願いしています。実際に面談して診ますと、抑うつ無気力状態に陥っていて自殺の危険のある学生に出会うことがあります。そうした場合には十分な休息と適切な治療が必要であることを保護者の皆様には、是非ご理解頂きたいと思っております。信頼できるメンタルクリニックを学生生活案内にも示してあります。

(3) メンタルヘルス不具合者の支援

これまでセクシャルハラスメントに限局されていたハラスメント防止は、いじめなどアカデ

ミックハラスメントなども含めて、ようやくキャンパスの人権問題として位置づけられ始めました。法人化後、5年も経たないのに、ハラスメントの被害で、不眠、不安、抑うつ、悪夢などの症状で悩んで相談する事例が増加しています。卒論や修論を巡っての指導教員との軋轢が学生の主たるストレスです。研究指導と称して雑用を強要されたり、人間の尊厳を傷つける暴言を浴びせられたり、優れた研究成果を搾取されたりすると学生は自尊心が傷つき不信感を抱き、研究室に出てこられなくなってしまいます。しかし元凶である指導教員はハラスメントの事実を否認し、学生の側は中退を余儀なくされ泣き寝入りということもありました。こうした事態を今後は改善しないと、学生中心の大学づくりは実現しません。被害にあってメンタルヘルスの不具合を来たした場合は、適切なケアとともに、研究室の移籍などの措置を取るよう努力しています。

Ⅲ 名工大における学生のメンタルヘルス支援の実際

a. 学生相談室の活用

電話（052-735-5108）で、メンタルヘルス相談を予約してもらいます。本人、保護者、なんでも相談室カウンセラー、指導教員、同級生、先輩などが付き添われる場合もあります。月曜日から金曜日まで毎日、相談に応じられる体制になっています。常勤看護師2名が常駐し、窓口対応をして心身の不調の相談に応じております。さらに精神科医が週3コマ10時間、臨床心理士が週2コマ6時間、相談時間を設定しております。遠隔地の学生の保護者の方からは、電話（052-735-5108）、手紙あるいは health@ml.nitech.ac.jp にメールを頂いて、学生の支援の糸口が始まることもあります。修学支援を行うなんでも相談室、就職支援を行う就職相談室、ハラスメント相談員との連携をしながら、心の健康を取り戻す支援を行っています。

不眠症、概日リズム睡眠障害、パニック障害、強迫性障害、摂食障害、適応障害、うつ病、双極性障害、統合失調症、急性ストレス障害、PTSD様の病態などさまざまなメンタルヘルス

の不具合が認められます。十年前、毎年40人程度だった新規相談学生が、今日では100人を超えるまでになっています。企業の勤労者のメンタルヘルスが悪化している昨今の状況は、大学にも暗い影を落としているのです。なんとか休学や留年を減らしたい、もちろん、自殺率を減らしたい、と考えながら日々活動しております。無事復学を果たして、卒業を達成して社会に送り出せるように、黒子となって日陰から見守るのが保健センターの学生相談室の役割だと考えております。どうぞ学生諸君、保護者の皆様、お気軽に保健センターをご利用ください。

b. 外部医療機関(メンタルクリニック)の活用

21世紀の今日でもメンタルヘルスケアの中心はカウンセリングである、と誤解している方がいまだにおられます。「The Broken Brain」(故障した脳 アンドリアセン著 紀伊国屋書店)という本の中で、精神科治療の主体は、お薬であると記されています。脳の働きの不具合を改善する薬物療法と休息、そして患者の不安を受容しながら支持的精神療法が実施されます。カウンセリングは医師の指示で行うもので、患者さんの要望で行うものではありません。信頼できるクリニックの精神科医と連携しながら、病状の回復にあわせて、復学に際して学生部や指導教員との連携を行っています。うつ病や双極性障害そして統合失調症では、回復に要する時間の長さから休学・留年が必要となることもあります。同期より遅れても卒業や就職を諦め

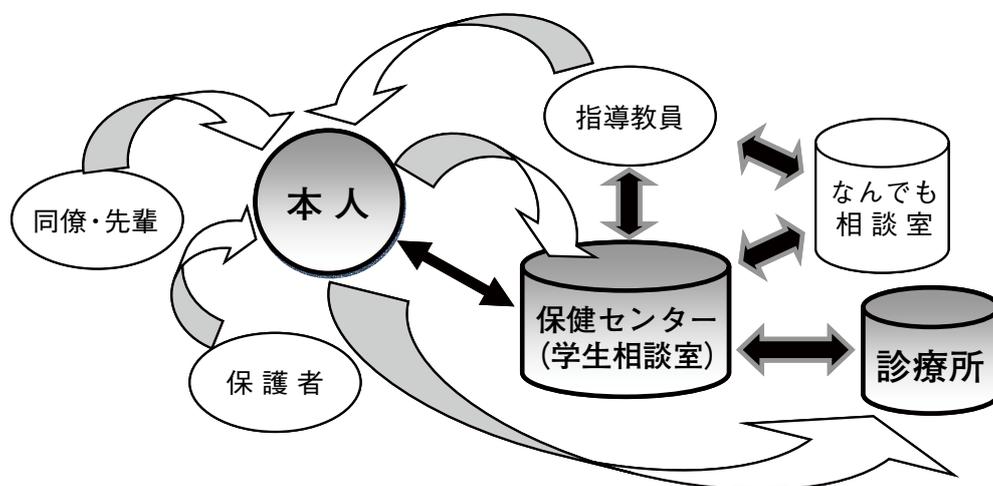
ないように保護者の方々と協力して行きたいと思っております。これらの学生のメンタルヘルス支援の取り組みは、産業現場におけるメンタルヘルス支援とまったく同様なものです。保健センター学生相談室におけるメンタルヘルス支援の流れを以下の図に示します。

c. 保健センターの役割

保健センターは、学校保健法に基づき結核の早期発見を目的に発足しましたが、結核は激減し最近では上述のメンタルヘルス支援に加えて、障害学生支援、肥満をはじめとする生活習慣病対策、喫煙対策(禁煙教育)、薬物依存対策(アルコール、大麻)、感染症対策(麻疹、インフルエンザ、AIDS)など包括的な心身の健康支援を行っております。特に先天性心疾患、慢性疾患、身体障害などを持っている学生のストレスは並大抵ではありません。かかりつけ医と連携しながら、保健センターの内科医、看護師と力を併せて、修学・就労が実現できるようにできる限りの支援を行っています。保健センターの全体像については、ホームページ(<http://www.hsc.nitech.ac.jp>)をご覧ください。

おわりに

名工大に保健センター学生相談室が誕生したのは1971年のことで、まだ30年余りの経験しかありませんが、学生のメンタルヘルス支援に尽力して行きたいと考えております。



保健センターを中心とするメンタルヘルス支援の連携

トピックス

名工大の学生支援

学生による学生のための学生支援団体、
名工大ピアサポート先輩のいる相談室 ピアサポーター
創成シミュレーション工学専攻 吉見 孔孝

名古屋工業大学ピアサポートは、学習や授業の履修、将来のことなど、学部生から相談を受け支援する団体で、毎週月曜から金曜の14時から18時に、19号館2階（ゆめ空間）で活動しています。ピアサポートの「ピア(peer)」は「友人・仲間」という意味で、名工大ピアサポートは、名工大の先輩が同じ道を歩む仲間として、後輩の学生生活をサポートしたいという有志のメンバーが集まって活動しています。

メンバー（ピアサポーター）は大学院生を中心に、現在24名が在籍しています。全員自分の研究や講義などの予定が入っているため、前もって各自が入れる時間帯を決定しておき、自分の研究などと並行してピアサポートに携わっています。また、ピアサポーターが互いに異なる専門を持っていることを活かし、相談内容によってはその相談に応じてあげることができそうなピアサポーターを呼ぶこともあります。学習相談であれば、その分野に強い先生に協力をお願いすることもあります。

ピアサポートがスタートして4年が経過しました。相談者数は年々増加しており、昨年度は429名からの相談が寄せられました。その中でも学習相談は252名であり、1年を通じて最も多くの相談が寄せられました。また、新学期となる4月や10月には履修相談が、12月頃からは就職活動や研究室配属などの進路に関する相談も多く寄せられます。

このような学生支援を行う団体は広島大、名古屋大等、他大学にもあるため、他大学の団体とともに、「ぴあのわ」という交流会を開くことで、他大学との学生支援団体との交流や情報交換も定期的に行っています。

名工大ピアサポートの最大の特徴は、他大学

と比較して相談件数が非常に多いということです。他大学では、教職員やカウンセラーを目指す学生によって構成されているため、精神面でのサポートに重きを置いています。他方名工大では学習相談や進路相談など、工学部の学生の日常のことに対応することに重きを置いています。そのため、相談件数が多いという実績を持っており、他大学からも注目されているようです。

私は、2008年4月よりピアサポーターとして活動に携わっています。1年間活動した結果、学業や進路などに悩んでいるものの、相談する相手がいなくて困っている学生が予想以上に多かったと感じています。以前は、このような学生支援の団体が無くても同学年の繋がりや同じ部活に所属する学生の繋がりが強く、互いに協力しあうことで進路選択なども行うことができたのではないかと思います。また、名工大では教員に気兼ねなく相談することはできるのですが、話を聞いてみると一人ではなかなか相談には行きづらいようです。そのため、「先生よりも身近に相談に行きやすい相手」や「学生と先生とを結ぶパイプ役」としてピアサポートが機能している、と考えていただければ幸いに思います。



ピアの仲間とのバーベキュー（左端が著者）

交流コーナー

ものづくり・ひとづくり・価値づくり・未来づくり 歴史に培われた名古屋工業大学の新しい心技体

名古屋工業大学大学院工学研究科つくり領域准教授
北川 啓介 (A⑧)

価値づくり？

100年の歴史に培われた名古屋工業大学は、モノの製作の現場でのオートメーション化を支えた機械や経営の分野、新素材による新しい製品を可能にした化学や材料の分野、エネルギー技術の大転換を支えた電気や電子の分野、社会の変革に先導して都市やその基盤を形成してきた建築や土木の分野など、それぞれの分野からの卒業生が社会の中で知識と経験を合わせることで、日本の近代化を支えてきました。そして、創立から100年経った今も、国立大学法人化を機に、名古屋工業大学は、ものづくり・ひとづくり・未来づくりをキャッチフレーズに掲げて、卒業後は、主に技術者として高い評価をいただいています。

では、これからの100年を考えたとき、これまでの実直で汎用性と即効性の高い工学技術を基本とした教育と研究の蓄積だけではない、大学から社会に発せられるシーズは何が考えられるでしょうか。

そこで、一度、ナゴヤ^(注1)という、日本各地のみならず世界各国からも、ものづくり拠点と評されてきたひとつの価値圏だからこそできるこれからの名古屋工業大学の100年だからこそ可能な、地元と根差したものづくり・ひとづくり・価値づくり・未来づくりについて考えてみたいと思います。

ナゴヤはB級シティ？

休日の朝食は家族一同で近所の喫茶店でモーニングサービス。嫁入り簞笥に収められた貯蓄高日本一の現金。代々伝えられる豪華な結婚式で合法的に脱税する要領の良さ。結婚するまで

デートでも財布を出さない独身女性による男の見極め。歩くのが遅く晴れていても地下街ばかりを歩く。異様に多くて細かいゴミの分別。道路ばかりでご当地ソングや映画の舞台になりにくい。海外に行くとトヨタ！と自己紹介。自宅の便器はTOTOよりINAX。英会話やフィギュアスケートなどのコンサバ系習い事を孫に勧める祖父母。昼は白い街なのに夜は早く街が黒くなる。全国興行で観客動員が見込めないののでこの街は飛ばそう。

私は生まれも育ちも職場も子供もナゴヤ。毎週、イベントや打合せや委員会で東京まで往復するのですが、集まった知人とナゴヤにまつわる話題になると、まるで、三人兄弟の真ん中のように、中途半端な情報ばかり。これまで、ナゴヤの人も、ナゴヤの特性をあまり上手に説明しようとしなかったものですから、B級グルメやB級ホラーのように、ナゴヤをB級シティと一言で片付けられてしまうのは妥当なのかもしれません。

住みやすいけど…

例えば、私の専門の建築学の分野では、ナゴヤは、100メートル道路や、広大な地下街、駅前の高層ツインタワーなど、第二次世界大戦後の焼け野原からの復興の際の、住宅、余暇、労働、交通、歴史的建築といった機能の区画化と同時に、大々的な超近代的開発の延長によって形成されてきたと位置づけられてきました。第二次世界大戦にて歴史的な建築物が失われた世界中の他の都市と同様に、名古屋城も御殿も焼失し、焼け野原に残った道路、堀、港などの痕跡が、急がれた戦後復興の取り組みのきっかけ

になり続けたため、建築による住空間の充実よりも、大規模な都市基盤の充実が長きにわたって最優先されてきた結果ともいえます。

そんなナゴヤですが、やはり自動車や建材やミシンなどの世界的な大企業によって、地元で多くの親子孫会社の連携を保っていることや、ものづくりを支える中小企業が独自の発明や特許によって経営を安定していることなどから、昨今の100年に一度といわれる世界規模の大恐慌の煽りを受けるとき以外は、専ら、不景気に強い、正社員のリストラ知らず、といわれます。数年前には、「今やナゴヤがとびっきりトレンドー」と、ワシントン・ポスト紙でも取り上げられたりもしました。

住みやすいけど住みたくない。ナゴヤのB級シティ説はより深まるばかりです。

心体感覚の復興

ところで、この、絶妙な、B級、という言葉。現代用語であるがため、B級を巡る捉え方は、まだ確立されているとはいえませんが、いつ頃から一般に拡がり、今、どのように使われているのでしょうか。

一級とA級のふたつの単語と比較すると、新旧や大小といった全てのバランスを保ちつつ極めきった一級ほどではない謙虚の意味合いと、高品質もしくは高価なA級と比べて優れた費用対効果という自負の意味合いのふたつを併せもっています。いわば、より消費者個人の立場に立って必然的に生まれてきた価値といった方がいいのでしょうか。

古来より、ある一定以上の大きさの都市や社会では、大量の情報が行き交う中、多くの人々の認識に耐えうる、安易で明快で、一辺倒、もしくは二項対立の包括的な情報が台頭しやすいものでした。歴史でも政治でも、世の中に在る動きや流れを理解することから始まりますが、その動きや流れが正しいのかどうか、社会から

したら小さな自分の目で確実に判断することはなかなか困難でした。

が、人間ひとりひとりの視点や趣向は、当人のそれまでの経験、身辺まわりの環境、ちょうどそのときの状況、そして、先祖代々のそれらなど、人によって千差万別です。大多数の人々の傾向を括った大義名分ではなく、ひとりひとりの心体の両方が内から作用しながら感覚として根付いているのです。

21世紀の幕開けは、同時に始まったテロや戦争や地球温暖化問題など、実は自分の身のまわりからかけ離れた社会事象ばかりが報道されていましたが、フッと気がつくと、日本の人口減少が始まった2005年あたりを境に、少子高齢化で幼稚園バスより高齢者福祉施設のバスの方が目についたり、日本人の人口が減少していく中で外国人の看護婦さんに手当てしてもらったり、自分のいつもの生活、もしくは身の回りで、着実にその一端を見聞きする機会が増えています。

いわば、アメリカと中東とのニュースが落ち着いたこの数年、それまで一見、気付きにくく見えにくかった身のまわりのモノ、コト、ヒトの価値の多様性が、社会の価値というよりも、老若男女の個人ひとりひとりの価値が見直されてきているのです。強い感銘を受ける世界規模のビッグニュースではないのに、どういう訳か意識してしまうし個人の心に響いて止まない自分の生活や身の回りの些細な出来事とこそ、一日の殆どを共にしています。

身近な生活に溢れるナゴヤの心技体

人生の節目、そして、死後の心と体の棲み家をも金ピカの仏壇で自分だけの価値にするナゴヤ式の冠婚葬祭の技術の源泉は、享保の時代に全国から尾張藩に集まった宮大工・漆職人・金箔職人・彫り師などの多くの職人の技が一堂に会した結晶物。縫製産業を支えてきた地元のミ

シン会社による世界大会で毎年ナゴヤの街中が彩られ、衣食住の中の衣の新しい魅力発信となっているコスプレ。祝い事にだけは金の糸目もつけないナゴヤの結婚式と融合したと有名な世界一巨大な和菓子は、実は巨大なだけに、割らずに蒸すことが極めて難しく、尾張の芸どころの時代から和菓子職人の技術を高めてきたと伝えられています。地産地消が北海道に次いで全国のトップレベルなのは、実は発酵食材の隆盛、白菜やキャベツやカリフラワーの品種改良、鰻の養殖技術、草花の温室栽培、美容整形の発祥地などにおいて、日本一や日本初の価値をつくりあげてきたナゴヤが育んできた天然物に価値を見出しすぎずに加工を厭わない風土があるのではないのでしょうか。

それぞれ、ナゴヤの代々の価値づくりと技術伝承に根差しています。つまり、心体感覚から生まれた価値創造に、代々のモノづくり技術が伴った、ナゴヤ・オリジナルの“心技体”が脈々と流れていて、これがナゴヤの謎めいた所以なのです。



『蓬萊山』という尾張発の
結婚式ならではの巨大和菓子 (注2)

ものづくり・ひとづくり・価値づくり・未来づくり

冒頭で記したように、名古屋工業大学が日本の近代技術を支えてきた普遍性、客観性、恒久性、汎用性などを基軸とした工学技術の研究開発に加えて、より現代の社会事象にも沿って、もしくは、より現代の社会事象を先導して、老若男女ひとりひとりの消費者の心と体を魅了しつつ、過去に大学と地元で培われた技術を伝承し、新しい価値づくりを行っていくことこそが、100年の歴史を誇る由緒ある地方の国立大学法人の次の100年なのではないでしょうか。

名古屋工業大学が立地するからこそ、ナゴヤ独特の価値づくり、もしくは、ナゴヤ発の価値づくりは、名古屋工業大学のこれからの100年に必要不可欠なキーワードになると思われる。ここで記してきた内容は、ナゴヤのオリジナルな価値観の一例として、一部、近代の副産物のように生まれたであろうB級を文中に取り上げましたが、こうしたB級的なものの中に潜んだ日常の生活の心体感覚に近い価値づくりこそ、ひとりひとりの個性を重んじる今世紀の流れに密着な関係があります。そしてこれは、必ずしも名古屋工業大学の教育と研究に限った話ではありません。こんな、ハイカルチャーというよりサブカルチャーに近いであろうB級な価値観でさえ、実は、伝統を現代、そして未来に受け継ぐ社会の本質が潜んでいるのです。

グローバリズムが進む中、首都圏や他の地方の大学も、ローカリズムの流れを受けて、その地の心体感覚に近い技を見出し、その地ならではの文化を生む必要も高まってきている中、名古屋工業会の皆様で、今一度、ナゴヤならではの価値づくりを考えてみませんか。

注1) 名古屋を現在の行政区の単位、ナゴヤを名古屋を中心とした地域で生まれた価値圏としています。

注2) 高さ約500ミリ。温度や湿度など気候や天候も考慮するため、日常的な小さな和菓子を蒸す際に役に立つらしいです。

学科紹介

卒業制作研究展(仮称)開催

名古屋工業大学 建築・デザイン工学科
デザイン系プログラム



デザイン系プログラム卒業制作研究展の開催

名古屋工業大学にデザインを学ぶことができるプログラムがあるのはご存知でしょうか？名古屋工業大学の建築・デザイン工学科は、明治38年度（1905）に開校した名古屋高等工業学校の建築科をルーツとしており、創立以来100年以上にわたる歴史があることは、皆様もご承知の通りです。平成16年4月には、その建築学科を母体とし、新たにデザイン系プログラムを加えた建築・デザイン工学科が発足しました。デザイン系プログラムは、誕生したばかりのフレッシュなプログラムです。

デザイン系プログラムは、今後工学系の教育機関にあること、建築学科を母体とする利点を最大限に活かし、質の高いデザイン教育を行うことにより、実績、認知度を高めるべく、ティーチングスタッフ、学生ともども日々精進しています。そこで、今回はその一環として、昨年度

の卒業制作を中心とした展示を行うにあたり、そのご案内をしたいと思っています。



展示概要：

名古屋工業大学 建築・デザイン工学科 デザイン系プログラムは、昨年初の卒業生が巣立ち、今年度は、初めてデザイン系プログラム出身の修士が修了予定です。そこでこの度、平成20年度卒業制作、卒業研究の展示を中心として、当デザイン系プログラムの教育、研究、活動の一端をご紹介します展示を開催させていただきます。

展示の中心となる昨年度の卒業制作は、16作品が出品予定です。作品は、インダストリアル、プロダクト、スペース、インテリア、ディスプレイ等、一般的なデザインの範疇に属するものですが、制作者自身で行った研究で得られた知見を参照した作品が数多く見られ、当プログラムの特色が表れた作品であると言えます。

当プログラムのカリキュラムは、最終年限の1年間で、研究と制作を両方行います。これは、建築系プログラムの長年培われてきたシステムを踏襲するものであり、1年間十分な制作時間を確保できる芸術系大学等とは大きく異なるものです。この制作時間が限定されていることは一見不利な側面ですが、研究により、工学的視点からデザインを探求し、「ものづくり」に活かすというプロセスは、当プログラムの独自性を特徴づけ側面でもあります。こうした工学的視点を前提としたデザイン系プログラムの作品の展示を是非ご高覧下さい。

デザイン系プログラム

平成20年度 卒業制作研究展(仮称)

日時：2009年5月22日（金）～25日（月）

午前10時30分～午後6時30分

会場：名古屋工業大学 講堂1階

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

問合せ：名古屋工業大学 石松研究室

052-735-7597

isi@nitech.ac.jp

作品ダイジェスト

●市川友子

タイトル:家庭で用いるポータブルトイレ

使用者・介助者にとってポータブルトイレの意匠は、トイレらしさを隠した家具調のものが好まれています。部屋にトイレがあるという違和感を減ずる為です。しかし一方で、多くの方はトイレの形に近いものを使用したいという傾向が示されました。これは、椅子ではなく、使い慣れたトイレの形のものを使いたいという思いがあるからだと推察されます。

そこで、部屋のイメージになじみながらも使用時にはトイレらしい個室空間を創出できるポータブルトイレをデザインしました。ベッドからも直接移動して使用することができます。

生活者のこれまでの状況に極力沿ったデザインを行うことで実現する人間らしい生き生きとした生活の創出を目指しました。

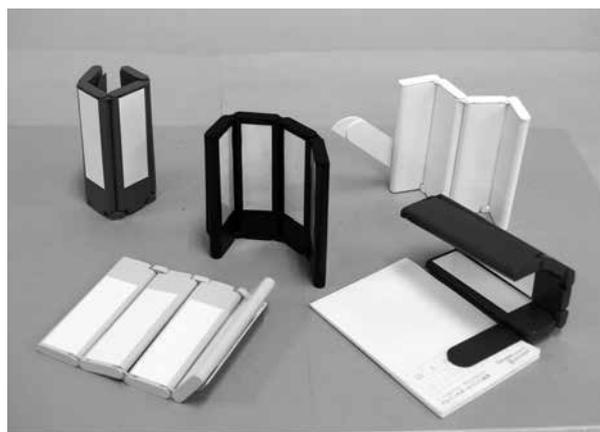


w550×d570 ~ 1040mm×h820 ~ 920mm
スプルース合板、プラスチック、スチール 他

●加藤美穂

タイトル:SHIMAU 灯

日本の文化に偏在する「畳んで、しまう」という行為に着目し、小さく折りたたんで収納できるパーソナルライトを提案したものです。バッグの中など携帯して場所をとらず、どんな場所でも、読書やちょっとした作業が可能な、自分だけのこじんまりとした空間を生み出します。灯としては、それほど明るいものではなく、実用性以上に、自分の小さな安らぎの空間を作り出す道具として考えたものです。



w130mm×d4mm×h103mm
プラスチック、LED灯

●川上将弘

タイトル:WES(Wearable Emergency Supporter)



l550mm×d22.5mm×h92.8mm
ウェット生地、樹脂 他

WESは一般市民における応急手当を支援するプロダクトです。私たちは、何時何処で突然の怪我や病気に見舞われるか分かりません。その中でも、心臓や呼吸が止まってしまった場合には、一刻も早く救命処置を施すことが重要となります。しかし、私たち一般の市民には、正確な処置を施す自信が無いために「ためらい」というものが生じてしまうことがあります。そして、その「ためらい」によって、救えるはずの命さえ救えなくなってしまいます。そこで、一般市民に的確な処置方法を視覚的に指示、支援を施し、「ためらい」を取り除くWESを提案致します。

●國分喜勝

タイトル:twoie(トゥーイー)

対の概念を基としたファニチャー製作

本作品は、子供向けの室内遊具です。一見似た様で少しだけ違った二つのものを、並べたり離したり組合わせたり…高さのずれ、天板側面に彫った溝の違いが、ユーザーにいくつもの問いを投げかけます。使う人にああでもない、こうでもない自分なりの解を見つけ出そうと工夫させ、子供が一人で動かすには少しだけ重いこの作品は、時には友達を作るきっかけにもなってくれるはずです。また構造体には微妙な遊びとねじれを許すことで転倒の防止、天板が微妙に揺れることが“怖さ”という安全性を引き出します。



w1200mm×d600mm×h1500mm
天板…シナベニヤ 構造体…イレクター、フラットバー(鉄)

●鈴木雄大

タイトル:組立座具



w614mm×d760mm×h926mm
シナベニア、ステンレスパイプ、鉄丸棒、PET樹脂板、塩ビパイプ、すべり止めマット

本作品は、組立家具であることを活かした座具です。組立式の家具は、付け足し・組み換えによるカスタマイズにより、生活の変化・子供の成長などに対応できる利点があります。座具は、背板・座面を支える木材の骨と筒状の部材によって構成されており、使用者が、身体と用途に合わせて骨の溝に筒を設置し、組み立てます。背板に使われている筒には、樹脂板を使用し、弾力を持たせ、座面に関しては、塩ビパイプを使用し、固さと強度を持たせました。また、使用者が可動部の仕組みを理解できることに気をつけました。

●山川周馬

タイトル:チャイルドシート ISOCRUZ (インクルス)



w440mm×d555mm×h735mm
高鋼性スチール、強化ビニール

現在のチャイルドシートは固定作業が困難なシートベルトによって後部座席に固定するタイプがほとんどです。そのため2006年10月以降に発表する新型車にチャイルドシート専用の取付金具を装備する事が義務化されました。制作したシートはその固定金具の特徴を生かし、見た目から軽さが感じとれる形状を目指しました。現在のシートの重量が重いと感じる保護者が多い為です。新生児から4歳をカバーするため、後ろ向きのベッドに近い形状と前向きの椅子に近い形状、どちらでも固定できるようにしました。

デザイン系プログラムに関する基礎データ



授業風景



授業風景

●教育

工学を基軸とした快適で豊かな「ものづくり」デザイン系プログラムは、工学を基軸としながら、常に豊かで、快適な「ものづくり」を志向しています。本プログラムにおける「デザイン」とは、工学的アプローチから修得される知識や技術により、物の材料や構造、機能等に関する問題解決を図り、さらに美しさや調和を考えて、ひとつの形態あるいは形式へとまとめあげることです。

●カリキュラム

デザイン系プログラムは、身の回りの環境を体感し丹念に観察することによって見い出されるものをデザインの資源とし、デザインワークに反映させ、「ものづくり」に活かします。諸感覚と感性を磨くための基礎実技科目が1年次にあり、分析力を高める科目、実社会に対応可能な実践力を修得する実技、講義科目が2年次、3年次に段階的に準備されています。常に自分が感じたものを「ものづくり」を通してどのように社会に位置づけ通用させるかを高度な水準で考えていくプログラムです。

●将来

卒業後には、工学的知識レベルの高いデザイナー、デザイン知識レベルの高いディレクターなど広く工学に基礎をおき、ものづくりに携わる人材を社会に送り出そうと考えています。

就職先としては、デザイン系の企業、職種への就職はもちろんのこと、建築をはじめとして、電気・通信・機械など、本学の工学分野に関わる企業、都市・社会活動、福祉活動、マスコミ、自治体等において、ものづくり的視点、デザインの視点に立った提案や計画、創造活動のできるスペシャリストとしての活躍が期待でき、昨年、今年度と着実に結果が出始めています。さらに、個人としての創造的な制作・社会活動を行うクリエイター、評論家などの道も考えられます。さらに高度な技術や研究職を目指して、大学院（博士前期課程2年間、博士後期課程3年間）への進学も可能です。

デザイン系プログラム※卒業生のこれまでの就職、内定先

(※デザイン系プログラムの研究室所属の建築系学生含む)

企業:アイシン精機株式会社、井村屋製菓株式会社、インパクトたき（グラフィック）、株式会社白井産業（家具）、林テレンプ株式会社、株式会社バッファロー、飛騨産業株式会社、マツダ株式会社、ヤマハリビングテック株式会社

官公庁:名古屋市役所

進学:大学院他 千葉大学、東京大学、名古屋工業大学、兵庫県立淡路景観園芸学校

(建築・デザイン工学科 デザイン系プログラム 石松丈佳)

学生コーナー

韓国を紹介します

社会工学専攻 博士後期課程
Jin Youngji

韓国から来た陳英芝と申します。博士後期課程から2年間、名工大で社会工学を勉強してきました。みなさんは韓国に行ったことがありますか？お勧めの観光名所と料理のレシピについて紹介したいです。名古屋からソウル間は名古屋から札幌、沖縄までの距離よりも近く、中部国際空港から飛行機を乗ると約1時間半でインチョン国際空港（ソウル）に着きます。

友達からソウルでお勧めが何か聞かれることが多いですが、ソウルは広くてショッピングを楽しめる場所や観光名所がたくさんあります。その中でも誰もが楽しめる場所として昔ながらの街並みが残る三清洞（サムチョンドン）をお勧めします。ソウルで伝統・芸術・文化の街といえば、仁寺洞（インサドン）が有名ですが、仁寺洞よりもさらに奥深く突き進んでいくと、三清洞という街に出ます。昔ながらの韓国の家屋が立ち並び、博物館、アートギャラリー、レストランやカフェが多く、のんびり時間を過ごせます。チベット博物館、おもちゃ博物館、目の不自由な人たちのアート作品を展示しているギャラリーなど変わった見所がたくさんあります。特に、みみづく博物館（写真1）は主婦が趣味で集めた世界70余国から2000余点のみみづくをテーマにした美術、工芸品、生活用品、アクセサリが揃った個人まわりとした博物館です。写真2は100年以上経った韓国の伝統的な家屋をそのまま改造した伝統茶専門店で、冬は暖かいオンドル（床暖房）でティータイムをするのもいいと思います。



写真1(左)：みみづく博物館の看板
写真2(右)：三清洞の伝統茶専門店の入り口

また韓国料理といえば、キムチ、ビビンバ、焼肉など色々ありますが、簡単に作れるおいしい牛肉ブルゴギのレシピを紹介します。韓国語でブルは「火」、コギは「肉」を表し、意味的には「焼いた肉」となる



米国ヨセミテ公園にて（著者）

ため、ブルコギという料理の意味として使われているほか、焼肉全般の意味にも用いられています。ブルゴギには牛肉以外に豚肉ブルゴギ、いかブルゴギなどもあります。

◎材料（4人分）牛肉（細切れまたは薄切り）：600g、しめじ：1パック、しいたけ：50g、千切りにしたにんじん：1本（小）、玉ねぎ：1個、水：1/2カップ、ねぎのみじん切り：小さじ3、おろしにんにく：小さじ3/2、ごま油：大さじ1、白ごま：大さじ1
◎合わせ調味料 しょうゆ：大さじ7、砂糖：大さじ2、こしょう：少々、料理酒：大さじ2

- ①すりおろした玉ねぎ（1/2個）と長さ5cmの細切にした牛肉に合わせ調味料をボールに入れ、10分程度下味をつけます。
- ②玉ねぎ（1/2個）は千切りし、他の材料と水を①に入れてよく混ぜます。
- ③フライパンで炒め（油は引かなくていいです）、お肉に火が通ったら出来上がり。

また、お肉に下味つけるとき、すりおろした梨（1/4個程度）を入れたらお肉が更にやわらかくなるのでお勧めです。個人的には春雨とねぎをたくさん入れたブルゴギが好きです。皆さんも一度作ってみてはいかがでしょうか？



写真3：ブルゴギ

クラブ紹介

No.10 鉄道趣味の交流場

鉄道研究会 山田 智文 (電気電子工学科)

名古屋工業大学鉄道研究会は、1975（昭和50）年に同好会として発足し、1987（昭和62）年に部に昇格しました。また当会の一つの特徴である、ミニSLは2003（平成15）年にキットを購入し、組み立てました。ミニSL今年で5年目となり、今後も当会の目玉となります。

現在、部員の人数は13名であり、そのうち、2名が院生、2名が南山大学、中京大学の部員であり、様々な年代の人がいるのも特徴です。普段の活動は週に一回、課外活動棟にある部室に集まり、部会を開いて、今後の活動について話し合います。特に重要なものとしては、5月に行われる丸栄百貨店の「鉄道模型展」と工大祭です。

「鉄道模型展」は毎年ゴールデンウィーク期間中に行われるイベントで、様々な模型メーカーと共に地元の大学鉄道研究会も参加しています。名工大鉄道研究会も第一回目から参加をし、イベントの目玉である、ミニ列車の運転を愛知工業大学鉄道研究部と共同で行っています。

工大祭はミニSLの運転の他に、機関誌の販売、鉄道模型の運転、写真展示も行います。ミニSLには近隣の幼稚園を招待しています。

その他の年間のイベントとしては次のようなものがあります。4月に新入生歓迎を兼ねて、近鉄塩浜検修車庫一般公開に訪問します。夏季休暇中には夏合宿があります。これは、部員で行きたい地方を決めて、その地域の鉄道に乗りに行きます。現地集合、現地解散なのが鉄道研究会らしく、行き方も部員ごとに様々です。今年度は北陸地方への合宿でした。11月には学内でミニSLの運転を行います。12月には忘年会を兼ねて、近隣の鉄道に乗りに行きます。また、有志で旅行に行くこともあります。

この他にも、近隣の大学鉄道研究会を誘い、貸切運転を行うこともあります。20年度は豊橋鉄道市内線や、阪堺電気鉄道で貸切電車を運転しました。

年間を通しての活動として、機関誌「連接車」の編集、発行があります。これは毎年、一つの鉄道路線（20年度は三岐鉄道三岐線）を取り上げ、その歴史、車両、駅などをじっくり調査し、まとめます。その他にも各自の合宿報告や、個人の投稿などもあります。

部会で以上のような活動について話し合いが行われた後は、それぞれの趣味活動を披露しあいます。鉄道趣味は人によって好きなポイントが少しずつ違います。実際に乗る人、写真を撮る人、模型を作る人、または電車の走行音を楽しむ人もいます。車両でも、JRの車両が好きだったり、名鉄電車が好きだったり、人によって好みはバラバラです。しかし、全員が「鉄道」が好きであり、毎回、鉄道について楽しく会話をしています。他の部員の話聞くことで、自分の趣味の幅を広げることができ、また単純に聞いていても楽しいのです。鉄道研究会は、そのような鉄道趣味交流の場でもあります。



丸栄鉄道模型展



豊鉄貸切集合写真

クラブ紹介

No.11 ビリヤード部!! ~全国大会を目指して~

ビリヤード部部长 北山 卓
(生命物質工学科)

僕たち名工大ビリヤード部は毎週水曜と金曜の15時から18時に、名工大の近くにある友楽ビリヤード場で活動しています。ビリヤードというと、大きく分けてキャロム競技とポケット競技がありますが、名工大ビリヤード部では1つの手球での球をポケットに落とすというポケット・ビリヤードを行っています。

ポケット・ビリヤードはとても奥の深いスポーツで、技術だけでなく頭も使うスポーツです。連続しての球を落とすには、ただ目の前の球を落とすだけでなく、次の的球を落としやすい位置に手球をもっていかなければなりません。そのために、球に回転をかけたり、ポケットする場所や手順を工夫したりしなければなりません。上達すればするほどこのビリヤードの奥深さにのめり込んでしまいます。

現在部員は主に、1年生3人、2年生5人、3年生7人、4年生2人の17人です。4年生は忙しくてなかなか来られませんが、時々院生の方やOBの方も練習に来てくださって、いろいろとアドバイスをしてくださいます。

普段の練習は、ビリヤード台1台に2~3人に分かれて、1番から9番までの的球を番号順にポケットしていき、最終的に9番のボールを落としたプレイヤーの勝利となる「ナインボール」など主に実戦形式で、部内大会や公式戦に



普段の練習風景

向けて、楽しく練習しています。また、部活が終わった後には、みんなで一緒に夕飯を食べに行くなど、先輩後輩の分け隔てなく仲の良い部活です。

名工大ビリヤード部は5年前にビリヤードサークルとしてつくり、去年部活に認定されて新しくできたばかりの部活です。20年度になって初めて部として公式戦への出場をしたのですが、9月に行われた東海新人戦ではベスト16、11月に行われた中部学生選手権では優勝を果たすなど、練習の成果を出すことができました。

今後の部の目標としては、まずは部員を増やすことです。部内大会をするにも人数が少ないと寂しいので…。20年度は1年生が3人しか入部しなかったため、21年度はたくさんの人に入部してもらえるように、がんばって勧誘していきたいと思っています。

そして部活動としては、より高いレベルの大会へ挑戦し実績を挙げることに、今まで公式戦では個人戦にしか出場したことがなかったため、学校対抗やハウスチーム対抗戦などの団体戦に出場し上位入賞することを目標にしています。

そのために、他大学との交流試合や様々なビリヤード場で行われるハウストーナメントに出場するなどして、部の活動の場を広げ、力をつけていきたいと思っています。



年末部内大会での集合写真

学内ニュース

ボランティア表彰の受賞

名古屋工業大学では、従来から学生の地域貢献への指導にも力を入れており、特に御器所キャンパス周辺の自主的な清掃活動はほぼ毎月開催されている。このたび、財団法人学生センターから、工大祭実行委員会を中心とする学生有志（総称：名工大クリーン連合）は、鶴舞公園、鶴舞駅、名大病院、花田公園、吹上インター周辺の公共スペースを定期的に清掃することで環境美化に大きく貢献していると高く評価され、全国表彰を受けました。去る1月30日（金）に京都で開催された表彰式には学生課長が出席し、表彰状と副賞10万円の贈呈を受けました。今後の活動の広がりが期待されます。（事務局）



意見交換で説明をする名工大松井信行学長

「第2回名古屋市エコ事業所特別賞」受賞

名古屋工業大学は、独創的でユニークなエコに関する取り組みを実施している事業所に贈られる「第2回名古屋市エコ事業所特別賞」を受賞した。

名古屋工業大学は、すでに名古屋市から「エコ事業所」として認定を受けているが、不燃ゴミのRPF燃料化、環境報告書の電子データ化、ペーパーレス会議の推進などで前年比40トン、10%のごみを減量しており、この環境配慮活動が評価されたものである。

2月4日に名古屋市中区役所ホールで表彰式が執り行われ、田坂副学長に名古屋市副市長から表彰状が授与された。

名古屋工業大学では、これからもごみの減量を維持するとともに、より一層資源化率を向上させるため、取り組みを強化していく予定である。（事務局）



表彰状を受ける田坂副学長

附属図書館 中学生の職場体験学習を実施

名古屋工業大学附属図書館では、去る2月5日に地域交流事業として中学生の職場体験学習の受入を行った。学習には中学1年生3名の生徒が参加し、図書館職員から名古屋工業大学の概要、図書館の業務説明を受けた後、貸出返却、配架、図書の装備、情報部門ではパソコンのハードディスクの交換等を体験した。体験中は、「図書館で働くには資格が必要なのか、どのような人が向いているのか。」といった質問も積極的に出た。

また、体験後には、「図書館ではカウンター以外にもたくさんの業務があり、多くの人に支えられてサービスが行われていることに驚いた。この体験を今後の学校生活に活かしたい。」との感想も聞くことができた。名古屋工業大学では今後もこのような事業を積極的に受け入れる予定である。（事務局）



図書の貸出を体験



ハードディスク交換を体験する生徒

平成20年度キャンパスミーティングを開催

名古屋工業大学は、『学生中心の大学づくり』を目指す一環として、今年で4回目となる「キャンパスミーティング」を去る2月6日に開催した。大学院生、学部生、社会人学生、外国人留学生、課外活動団体の部員及び学生自治会委員など、合わせて46名の学生の参加があった。

はじめに松井学長から学生と大学が直接生の声でやりとりできる場や本学における学生発案のキャンパス整備、高校生に向けたよりわかりやすい大学情報の発信方法などが必要であるとの挨拶の後、授業内容・方法、学生生活に関する事項、学内設備の利用、地震等への災害対策、就職活動などについて、活発な意見交換がなされた。

このキャンパスミーティングは今後も定期的で開催されるが、学生からこのような場をもっと増やして欲しい、さらに多くの学生が参加できるように検討してほしいとの要望が出るなど有意義なミーティングとなった。（事務局）



学生と意見交換をする松井学長

平成20年度学生表彰を実施

名古屋工業大学は、学術研究活動及び課外活動等において、「高い評価を受けた」、「優秀な成績を修めた」、「本学の名誉を著しく高めた」などの顕著な功績をあげた個人又は団体に対し、その功績を称えるため、平成20年度学生表彰を去る2月17日に実施した。今年度の受賞は例年より多く、学長表彰として学術研究活動部門で11名、課外活動部門で団体表彰2団体、個人表彰5名、学生部長表彰として団体表彰9団体、個人表彰16名が受賞し、松井学長及び内山学生部長から賞状と副賞が授与された。

なお当日は、松井学長をはじめ、学内関係者、指導教員及び顧問教員、各団体の部員など、約70名が参加した。
(事務局)



賞状を渡す松井学長

「アジア人財資金構想自動車産業スーパーエンジニア養成プログラム」成果発表会を開催

名古屋工業大学は、去る3月9日、「アジア人財資金構想自動車産業スーパーエンジニア養成プログラム」成果発表会を開催した。第1期生として参加した4名の留学生は今年3月にプログラムを修了、4月からは日本企業に就職することが決まっており、今回の成果発表会はこの修了にともない開催された。会には自動車関連産業や大学関係者ら約80名が参加した。
(事務局)



成果発表をする修了生

インド・アナ大学教授らが名工大を視察

去る3月17日、名工大の国際交流協定校の1つであるインドのアナ大学からマノハン教授を始め9名の教育関係者が来日し、名工大を視察した。今回の訪問は、名工大における入学制度や教育プログラムについての調査、学長との面談及び学内施設等見学を目的としたものであった。

一行は、名工大到着後、松井学長、山本国際交流センター長や曾我大型設備基盤センター長を表敬訪問し、安全管理や将来のエネルギー研究等について意見交換を行った。その後、名工大在学中のインド人留学生と懇親した後、大型設備基盤センターや国際交流会館をはじめとする学内の研究施設等を視察した。
(事務局)



意見交換で説明をする名工大松井信行学長

平成20年度北陸支部総会の開催報告

平成20年度北陸支部総会は去る11月1日（土）16時30分より、北陸三県のほぼ中央、小松市内で最古を誇る由緒ある日本式料亭『小六庵』にて、本部小田副理事長殿のご来駕を戴き総計27名と近年にない盛況にて開催しました。

第一部は石川県評議員馬場清和氏の司会で支部総会。支部長挨拶に続き、名工会通常総会、支部長会議概要の報告、19年度事業／決算、20年度事業計画／20年度予算案、役員人事が承認されました。また、会員増強のため名簿の精度向上、情報交換の密度向上、また母校への誇りと感謝の気持ちを忘れず、機会を捉えての未入会者勧誘を要請しました。なお岐阜支部より転勤入会の浅野一郎氏が紹介されました。

第二部は小田副理事長による『名工会と母校名工大の近況と課題』をご講演いただきました。

第三部は懇親会。石川県の西田憲二氏の司会により記念撮影について馬場評議員の挨拶のあと、小田副理事長の乾杯の音頭から料亭特有の雰囲気を楽しみながら歓談に入りました。開催までの労をとられた地元の馬場評議員はじめ（株）コマツの皆様のおかげもあって大変賑やかな宴席となり、自己紹介や母校の思い出話で旧交、新交をいっそう深めました。中締めは富山県の評議員森悦次氏の一本締めとなりました。来年度は支部規約に基づき富山県に場所を移し、再会としました。今回は地の利もあったとは言え、皆様はじめ特に地元の皆様のご支援、ご苦勞で大いに盛り上がった支部総会となりました。

記：北陸支部 山岸（K33）



東京支部第43回ごきそサロン報告

西川産業(株)日本睡眠科学研究所長の技術士・中村 勤氏（W41）を講師に迎え「睡眠と睡眠環境」と題して3月11日（水）夕方八重洲倶楽部で行った。

講師による「睡眠と寝具の快適性」という繊維学会誌論文をテキストに用いた健康に関わるテーマであった。誰もが興味ある話題だったためか出足がよく定刻5分前の6時25分に始まった。睡眠と脳の関係や寝具の温湿度など何となく感じてはいるものの普段あまり深く考えたことがないので、科学的見地から解説された話を面白く聞くことができた。

写真は前回に続き開始前に参加者全員を撮ったもので、幹事が写真屋に駆け込み講演終了までに焼増して参加者に配布した。今回も主にメールで呼びかけてかなりの会員が集まった。

また昭和54年卒業の若い会員が参加予定だったが急な都合で残念ながら不参加となった。講師を含めて29人が集まり会場はほとんど一杯となった。次回以降も初めての会員や女性会員が一人でも多く参加したくなるような準備を進めたい。

講師を含めた参加者(敬称略)は下記のとおり。
M18小関、A19福本、K30清水、D30友松、D32高橋、W33佐藤、飯田、M35星野、東島、D35 済木、D36藤井、D37山田、W38倉島、中村、高瀬、D38〇三山、E38是木、E39織田、下前、〇加藤、D39滝、平原、F40白井、E40墨谷、W43印藤、K43〇須賀、D44岡本、B45修・井上、K46〇阪井
〇は幹事。

記：加藤勝英（E39）



名工大金属工学科K51同窓会

名工大金属工学科K51（S51年卒）同窓会を平成21年2月8日（日）に母校名工大内にある校友会館1階のcafe『SALA』にて、卒業生の半数以上となる27名の参加のもと開催しました。

開会にあたり、名古屋工業大学松井信行学長から『本日は、K51のクラス会おめでとうございます。私も名工大の卒業生で、E41ですので皆様の10年先輩ということになります。昨今、私たちを取り巻く社会情勢には厳しいものがございますが、経済界の好況、不況に関係なく、本学の卒業生の就職に心配が要らないのは、皆様が実社会で築き上げてこられた実績があるからに他なりません。今後の皆様の更なるご発展を祈念しつつ、ご挨拶とさせていただきます。』とのメッセージをいただきご披露させていただきました。

学内の変化・研究室の思い出・校友会館展示内容・最近の体調及び体重・今どんな仕事をしているか・これからどうやって楽しく生活していくか等、話が弾むうちにあっという間に時間が過ぎてしまい、また次回皆で元気に再会できることを期待して無事閉会となりました。また、前回と今回のクラス会で皆で出した募金で名古屋工業大学100周年記念事業の規定額に達し、校友会館前に『K51卒業生一同』の記念プレートを展示していただくことになりました。クラス会開催にあたり、『SALA』の皆様・名古屋工業会の皆様・名古屋工業大学総務部の皆様には、色々と御協力及び御手配頂き有難うございました。



第78回 名工大ごきそ会

早春の中、平成21年3月27日（金）東海地方屈指の難コース、南山カントリーにて14名で開催しました。天気ながら風の強い寒い天候で、難コースの上に風との戦いとなりました。今回もロウハンデーが有利との予想でしたが、H10の目方十郎氏(D34)がネット86で優勝、準優勝はネット87の柴田作氏(A42)、バスマグロは前回に続き92の坂本修造氏(A35)です。

懇親会では、欠席の森代表幹事に代わり坂本修造氏より入賞者に賞品が渡され、優勝者のスピーチ、ブービー賞桜井尚氏(E18)のスピーチ等、和やかな中、会の運営についても討議され、会員増強を主眼に各会員の支援を確認し、閉会しました。次回は9月の予定。記：柴田 作(A42)



第198回 名工会東京支部ゴルフ大会報告

平成21年3月27日（金）、本厚木CCにて22名で開催、桜は三分咲き、好天にもかかわらず全般不調な中、パットが好調な伊藤幸郎様(C23)がネット73の断トツで優勝、シニア賞も獲得しました。名工会での優勝は初めてと、大変喜ばれ、祝福にご満悦でした。準優勝は前回に続き竹林義之(D39)、第3位は小関健二様(M18)が入賞されました。

懇親会では、今年、小関健二様が米寿、安藤文夫様(E31)が喜寿、城之内一成様(C41)が古希を迎えられ、本間吉夫様(E18)から記念品が授与されました。次回は6月12日佐倉CC開催です。

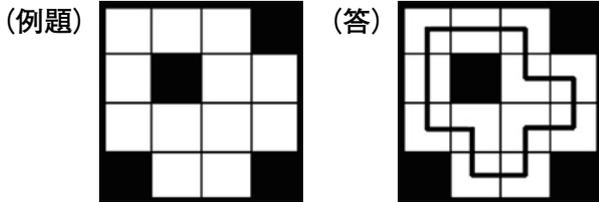
記：竹林 義之 (D39)



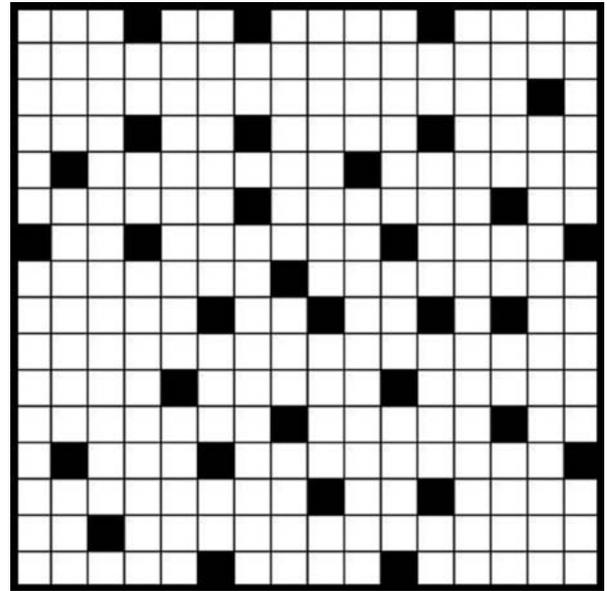
ごきそでパズル

今回のパズルは「プレーンループ」です。

上下左右のマスへ線が続けて、ぐるっと一周させてすべてのマスを通る輪をつくってください。各マスはただ一度だけ、通ります。



問題 ぐるっと輪を作ってください。



(前回の答え)
A～Hには
「ツルマイコウ
エン」
が入ります。

ダ	ユ	キ	ダ	ル	マ	コ
ス	ウ	キ	イ	マ	マ	コ
ベ	ハ	ス	レ	ク	ジ	
リ	ズ	ム	ツ	イ	シ	
ダ	イ	エ	ツ	ト	ヤ	
イ	ツ	ミ	コ	ン		
ヒ	グ	レ	ド	キ		

解答は次号に掲載します。

パズル：稲葉直貴 (EJ⑬) 作

編集後記

今回の特集は「学生支援特集」です。国立大学が法人化されて教育面、研究面、運営面で大きく変わってきましたが、その中の一つが入学から修学、卒業までの様々な学生支援です。工学教育総合センターによる様々なサービスや先輩からの直接アドバイスを受けることのできるピアサポートなど卒業生の皆様の時代では考えられないサービスもあります。この特集号は在学生のご父兄の方々にも送付されますので、本学同窓生諸氏ばかりではなくご父兄にもこのサポートシステムをお知らせしたいとの特集になっています。

もちろん、学位授与式の記事にもありますように、同窓会組織である名古屋工業会も大学を通して学生の支援を長年続けて参りました。また、入学式には大学主催により名工大OBの帝人株式会社取締役会長としてご活躍の長島徹氏に卒業生としてのご講演もいただきました。講演内容を掲載いたしましたのでぜひご一読ください。工業会でも名工大OBによる別の企画を考えておりますが、今後も大学との連携をとりつつさらなる学生支援を続けて参ります。

(北村)

広報委員会

委員長

北村 正 (Es48)

委員 [○：幹事]

○犬塚 信博 (J 62)

糸魚川文広 (M61)

横山 淳一 (Fb⑥)

森川 民雄 (W45)

○大園 忠親 (I ⑦)

小坂 卓 (EJ⑥)

山口 啓 (C 49)

若尾 尚史 (D⑥)

森 聡

山本 勝宏 (ZW⑥)

宇佐美智伯 (SU⑥)

道家 清正 (Y 30)

秀島 栄三

本多 沢雄 (ZY⑥)

平井 稔雄 (M⑤)

飯田 雅 (K 46)

北川 啓介 (A⑧)

鵜飼 裕之 (F 52)

廣瀬 光利 (E 50)

杉江 紘 (F院44)

特許業務法人
英知国際特許事務所
EICHI Patent & Trademark Corp.

所長 弁理士 岩崎 孝治

— 知財の総合コンサルタント —



東京本部 〒112-0011 東京都文京区千石 4-45-13
TEL: 03-3946-0531(代) FAX: 03-3946-4340
神奈川支部 〒225-0021 神奈川県横浜市青葉区すすき野 1-4-1-103
TEL: 045-902-2004 FAX: 045-902-2004
北海道支部 〒078-8802 北海道旭川市緑が丘東二条 4-11-12
TEL: 0166-65-2080 FAX: 0166-65-2080
浜松支部 〒430-0806 静岡県浜松市中区木戸町 5-11
TEL: 053-461-5662 FAX: 053-460-6027

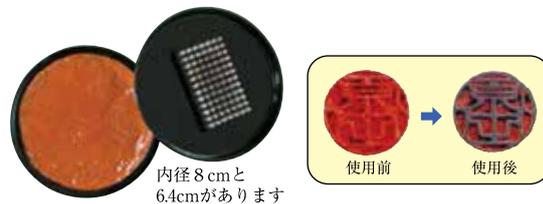
<http://www.eichi-patent.jp>

—いつも綺麗な捺印を—

印鑑や篆刻の印面に朱肉や紙粉が詰まり、捺印しても印影が綺麗に写らない場合があります。

そんな時、この“朱おとし”をご使用ください。

印面を傷付けず汚れを取り、綺麗に捺印することができます。ゴム印のゴミでも綺麗に落とせます。



内径8cmと6.4cmがあります

名古屋市西区名駅二丁目3番17号
名豊工業株式会社

代表取締役 原田 直輝 (D41)
電話&FAX 052-541-6919

センサとレーザマーカの総合カンパニー



取締役社長 吉村 元 (Es51)

各種FA用センサ (光電センサ・圧力センサ・近接センサ・変位センサなど)、安全機器 (セーフティライトカーテン・セーフティドアスイッチなど)、静電気対策機器、レーザマーカ、マイクロスコブ、工業用内視鏡など

<http://sunx.jp/>

SUNX株式会社 東証一部・名証一部 上場
愛知県春日井市 電話 0568-33-7211

“仕事を通じて世界に喜びと感謝の輪を広げる”

高級耐火物、黒鉛坩堝、ファインセラミックス、景観材
ニューカーボン材、環境機能材、金属マトリックス複合材

創造性を追求する

株式会社 TYK

代表取締役会長 牛込 進 (Y33)

本社 ☎100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2
☎03-3201-0821 FAX 03-3213-3566
本部 ☎507-0818 岐阜県多治見市大畑町3-1
☎0572-22-8151 FAX 0572-22-0706

建設 不動産コンサルティング 調査 設計 企画



株式会社 前田組

代表取締役 前田 靖

〒466-0031
名古屋市昭和区紅梅町3-3 円昭ビル2F TEL052-852-2225
<http://www.enshow.com/MG/>

株式会社 円昭

代表取締役 前田由紀夫

有限会社 円昭建築設計事務所

所長 前田 知次



〒466-0031
名古屋市昭和区紅梅町3-4-2 TEL052-841-2701
<http://www.enshow.com>

(株)ブライダルは
名古屋工業大学会員の皆様の
「結婚」を応援します。

31年の実績
(一橋大コースetc)



左のQRコードにて携帯サイトに簡単にアクセスできます。
(一部対応しない機種がございます。)

名古屋工業大コース

これをご覧になったとおっしゃってください

会員サポート費 **50% OFF**

ブライダルコース ¥220,500 ▶ ¥189,000 etc.

エクセレントコース ¥378,000 ▶ ¥330,750 etc.

●ミドル・シニアの方々のプランにも特典がございます。

- 価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。
- 成婚率は業界トップクラス。
- 入会審査有り
- 都庁・官公庁・有名大学などでメディア展開。
- お客様満足度NO.1のお世話を目指し少子化問題にも貢献。

お問い合わせ (月夜定休) ☎0120-415-412
<http://www.bridal-vip.co.jp>
名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪